

# 第2回北海道子どもの生活実態調査 報告書

2023年10月

北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター  
北海道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課

# 目 次

はじめに .....	001
第Ⅰ部 北海道子どもの生活実態調査（乳幼児）報告 .....	002
第Ⅱ部 北海道子どもの生活実態調査（小2～高2）報告 .....	071
第Ⅲ部 自由記述の分析 .....	147
付録1 調査票 .....	219
付録2 集計表 .....	292

# はじめに

北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センターと北海道保健福祉部は、2021年～2022年にかけて、第2回北海道子どもの生活実態調査を実施した。調査は2歳、5歳、小学2年生、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者、および小学5年生、中学2年生、高校2年生の子どもを対象としている。第1回調査は2016年～2017年にかけて実施されており、第2回調査は調査地域、調査対象学年、調査対象数とも基本的に第1回調査を踏襲している。

本報告書は、2022年に実施された乳幼児の保護者を対象とした調査と、2021年に実施された小2～高2を対象とした調査を分けて集計・分析を行っている。これは調査年度、調査方法が異なることによるが、多くの調査項目が共通しており、一連の調査研究となっている。

調査の企画、報告書の分析、執筆は、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター所属の松本伊智朗、上山浩次郎、大谷和大、加藤 弘通、川田学、関あゆみ、鳥山まどか、大澤真平（札幌学院大学・同センター学外研究員）、小西祐馬（長崎大学）、鹿嶋桃子（名寄市立大学）、及川智博（名寄市立大学）が担当した。また自由記述の分析と執筆は、北海道大学大学院教育学院博士課程の佐藤奈月（保護者回答、子どものコロナ影響部分）、安明希（子どもの自由意見部分）が担当した。編集補助として、同研究院学術研究員の張思銘、陳勝の助力を得た。なお、本研究は科学研究費補助金（21H04404）の一環として行われている。

なお、2021年には札幌市と北海道大学同センターと共同で同様の調査を実施しており、この結果はすでに札幌市のホームページで公開されている。また、北海道大学同センター、北海道、札幌市と共同で、北海道と札幌市のデータを総合して一般向けの報告リーフレットを作成し、同センター、北海道、札幌市のそれぞれのホームページで公開されている。あわせて御覧頂ければ幸いである。

# 第 I 部

## 北海道子どもの生活実態調査(乳幼児)報告

# 目 次

調査の概要 .....	4
1 調査回答世帯について .....	7
2 働き方について .....	11
3 家計・生活不安について .....	16
4 健康について .....	19
5 子どもの遊びについて .....	24
6 幼児教育・保育について .....	47
7 社会的ネットワークと子育ての悩みについて .....	50
8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について .....	58
9 制度の利用について .....	63

## 乳幼児調査 調査の概要

### (1) 目的

乳幼児期の子どもの貧困対策を効果的に推進するため、世帯の経済状況と子どもの生活環境、子ども・子育ての状況を把握することを目的とする。

### (2) 調査対象

1歳半～2歳児（以下2歳児）、5歳児の保護者

### (3) 調査内容

健康状態、就労状況、収入、子育ての様子、暮らし向き、制度の利用状況 等

### (4) 調査方法

#### 1) 2歳児保護者

無記名によるアンケート方式

- ・1歳半健診時に調査票等を配布し、郵送で調査票を回収

#### 2) 5歳児保護者

無記名によるアンケート方式

- ・子どもが通う保育所、幼稚園、認定こども園を通して調査票を配布。回答後は回収用封筒に封をして保育所等に提出。

### (5) 実施時期

令和4年5月～9月

### (6) 実施地域

- 1) 平成29年度に実施した「北海道子どもの生活実態調査（乳幼児調査）」との比較検討を考慮し、同じ市町を対象とした。また令和3年実施の「北海道子どもの生活実態調査（小2～高2）」の対象地域をすべて含んでいる。
- 2) 調査対象選定にあたっては、北海道医療計画上の第二次医療圏に設置する保健所圏域（26圏域）から1市町以上となるように考慮している。
- 3) 地域ごとの対象者数は、令和3年実施の北海道子どもの生活実態調査（小2～高2）に準じておおむね2500人を設定し、これを地域ごとの人数比により案分して設定した。

実施地域の区分と市町村（○は小2、小5、中2、高2調査の実施地域）

道 央					道 南	
空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山
岩見沢市 ○三笠市 ○滝川市 深川市	江別市 千歳市	○蘭越町 余市町 ○岩内町	○登別市 苫小牧市	○浦河町 新ひだか町	○北斗市 八雲町	江差町

道 北			オホーツク	十 勝	釧路・根室	
上川	留萌	宗谷			釧路	根室
○旭川市 名寄市 富良野市	留萌市	○稚内市	○網走市 北見市 遠軽町	帯広市 ○清水町 ○幕別町	○釧路市	根室市 中標津町

(7) 調査票の配布、回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率 (%)
2歳保護者	2,520	683	27.1
5歳保護者	2,413	1,736	77.6
合 計	4,933	2,419	50.8

(8) 実施主体

本調査は、北海道と北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター「子どもの生活実態調査」研究班と共同で実施している。科学研究費助成事業基盤研究（A）「子ども・子育て家族の貧困と政策・実践：「包括的最低限保障」の構想のために（研究代表者：松本伊智朗北海道大学大学院教育学研究院教授）」による研究の一環として行われており、北海道大学大学院教育学研究院における人間を対象とする研究倫理審査（21-23）の承認を受けている。

(9) 集計方法等

1) 表記について

結果数値 (%) は小数第2位を四捨五入して表示しているため、内数の計が合計に一致しない場合がある。また集計上、未記入等不明分を除いた回収数を記載している。

2) 所得階層の区分方法

本報告書で用いられる5区分の所得階層は、2019年国民生活基礎調査における貧困率の推計に用いられる「相対所得貧困線」を基準線として用い、その倍率に準じて設定している。該当する倍率は、「低所得層Ⅰ」：1.0倍未満、「低所得層Ⅱ」：1.0～1.4倍未満、「中間所得層Ⅰ」：1.4～1.8倍未満、「中間所得層Ⅱ」：1.8～2.5倍未満、「上位所得層」2.5倍以上である。基準線（相対所得貧困線）は、一人当たり等価可処分所得の中央値の50%であり、2019年国民生活基礎調査では127万円である。これに世帯人数の平方根を掛けて、世帯人数ごとの基準線を設定した。調査では、50万円刻みの選択肢（800万円以上は100万円刻み）で年間所得の回答を求めている。

これは当初所得なので、可処分所得に変換する必要がある。国民生活基礎調査では、所得5分位階層ごとに、所得範囲と平均所得（a）、平均可処分所得（b）を示している。これによって、それぞれの所得分位（所得範囲）ごとの平均所得と平均可処分所得の比を求めることができる。この比を係数として用い、当該世帯の可処分所得の推計値を算出し、該当する上記の所得階層区分を当てはめた。本調査では、基本的に50万円刻みの選択肢で「所得の幅」を把握しているので、選択肢の区分線と所得階層区分線が一致しない場合が生ずる。これについては、ずれの幅の小さいほうの所得階層に区分することとした。

※国の子どもの貧困率等の基となる国民生活基礎調査では、詳しい聞き取りの方法により可処分所得の回答を得ているが、本アンケート調査では、年間収入から可処分所得を推計しており、調査・集計方法が異なるため単純な比較はできない。

### 3) 世帯類型について

世帯類型は、「父+母+子」と「父+母+子+祖父母」（祖父のみ、祖母のみの場合を含む。以下同様）を「ふたり親世帯」とし、「母+子」、「母+子+祖父母」、「父+子」、「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として、調査結果を示している。



## 1 調査回答世帯について

以下は、回答世帯の子どもの年齢（表1-1）、家族構成（表1-2）、世帯類型（表1-3）、所得階層（表1-4）である。世帯類型は、家族構成の「父+母+子」「父+母+子+祖父母」を「ふたり親世帯」、「母+子」「母+子+祖父母」「父+子」「父+子+祖父母」を「ひとり親世帯」として再構成したものである。本報告書では、子どもの年齢、世帯類型、所得階層を主な軸として、報告を行う。

2歳児保護者は回答率の低さを反映して回答数が少ない。家族構成は母子世帯が全体の6.8%であり、世帯類型として父子世帯を含む「ひとり親世帯」に集約すると7.2%になる。所得階層は、低所得層Ⅰが13.6%である。

表1-1 年齢

(単位：人数、%)

2歳	683	28.2
5歳	1736	71.8
全 体	2419	100

表1-2 家族構成（2歳）

(単位：人数、%)

父+母+子	2091	86.4
父+母+子+祖父母	102	4.2
母+子	128	5.3
母+子+祖父母	36	1.5
父+子	8	0.3
父+子+祖父母	3	0.1
その他	20	0.8
無回答	31	1.3
全 体	2419	100

表1-3 世帯類型

(単位：人数、%)

ひとり親世帯	175	7.2
ふたり親世帯	2193	90.7
その他世帯	20	0.8
不明	31	1.3
全 体	2419	100

表1-4 所得階層

(単位：人数、%)

低所得層Ⅰ	329	13.6
低所得層Ⅱ	502	20.8
中間所得層Ⅰ	470	19.4
中間所得層Ⅱ	607	25.1
上位所得層	288	11.9
無回答	223	9.2
全 体	2419	100

表1-5～表1-7に、基本指標である子どもの年齢、世帯類型、所得階層のそれぞれのクロスを示す。2歳に比較して5歳児保護者で「ひとり親世帯」の比率が高くなる。また低所得層Ⅰと上位所得層の比率が高くなり、子どもの年齢が上がるにつれて所得格差が拡大する傾向が確認できる。また、ひとり親世帯の54.3%が低所得層Ⅰであり、ひとり親世帯の貧困リスクの高さが示されている。

表1-5 年齢と世帯類型のクロス

(単位：人数、%)

		合 計	ひ と り 親 世 帯	ふ た り 親 世 帯	そ の 他 世 帯	不 明
全 体		2,419	175 7.2	2,193 90.7	20 0.8	31 1.3
年 齢	2 歳	683	34 5.0	639 93.6	6 0.9	4 0.6
	5 歳	1,736	141 8.1	1,554 89.5	14 0.8	27 1.6

表 1-6 年齢と所得階層のクロス

(単位：人数、%)

		合計	低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	無回答
全 体		2,419	329 13.6	502 20.8	470 19.4	607 25.1	288 11.9	223 9.2
年 齢	2 歳	683	81 11.9	133 19.5	157 23.0	196 28.7	63 9.2	53 7.8
	5 歳	1,736	248 14.3	369 21.3	313 18.0	411 23.7	225 13.0	170 9.8

表 1-7 世帯類型と所得階層のクロス

(単位：人数、%)

		合計	低所得層 I	低所得層 II	中間所得層 I	中間所得層 II	上位所得層	無回答
世帯類型	ひとり親世帯	175	95 54.3	27 15.4	13 7.4	12 6.9	8 4.6	20 11.4
	ふたり親世帯	2,193	223 10.2	473 21.6	454 20.7	594 27.1	278 12.7	171 7.8
	その他世帯	20	9 45.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	3 15.0
	不明	31	2 6.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	29 93.5

回答者と子どもの関係（表1－8）、回答者の年齢（表1－9）を以下に示す。回答者は子どもの母親が9割以上を占め、30代から40代前半に多いことがわかる。

**表1－8 回答者とお子さんの関係**

（単位：人数、％）

母親	2255	93.2
父親	129	5.3
きょうだい	0	0.0
祖母	5	0.2
祖父	0	0.0
その他	7	0.3
無回答	23	1.0
合 計	2419	100

**表1－9 回答者の年齢**

（単位：人数、％）

～19歳	4	0.2
20～24歳	39	1.6
25～29歳	291	12.0
30～34歳	693	28.6
35～39歳	772	31.9
40～44歳	442	18.3
45～49歳	131	5.4
50～54歳	10	0.4
55～59歳	3	0.1
60～64歳	2	0.1
65歳以上	2	0.1
無回答	30	1.2
合 計	2419	100

## 2 働き方について

### (1) 母親の就業状況

全体で見ると、母親の35.8%がパート・アルバイトで働き、26.9%が正規の職員・従業員として働いている。26.7%が働いていない。子どもの年齢が2歳であるほど、働いていない人の割合は増加する（表2-1-1）。

表2-1-1 母親の働き方（年齢別）

（単位：人数、％）

		サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体		2,381	641 26.9	852 35.8	69 2.9	16 0.7	109 4.6	7 0.3	40 1.7	635 26.7	2 0.1	10 0.4
年 齢	2歳	679	216 31.8	175 25.8	16 2.4	0 0.0	18 2.7	0 0.0	16 2.4	236 34.8	0 0.0	2 0.3
	5歳	1,702	425 25.0	677 39.8	53 3.1	16 0.9	91 5.3	7 0.4	24 1.4	399 23.4	2 0.1	8 0.5

ひとり親世帯の母親は、ふたり親世帯の母親に比べて、働いていない割合が低い（ひとり親世帯8.5%、ふたり親世帯28.1%）一方で、正規の職員・従業員である割合（ひとり親世帯37.2%、ふたり親世帯26.3%）や、パート・アルバイトで働く割合（ひとり親世帯41.5%、ふたり親世帯では35.2%）が高い（表2-1-2）。

表2-1-2 母親の働き方（世帯類型）

（単位：人数、％）

	サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体	2,381	641 26.9	852 35.8	69 2.9	16 0.7	109 4.6	7 0.3	40 1.7	635 26.7	2 0.1	10 0.4
世帯類型	ひとり親世帯	164 37.2	68 41.5	15 9.1	0 0.0	4 2.4	0 0.0	0 0.0	14 8.5	0 0.0	2 1.2
	ふたり親世帯	2,193 26.3	577 35.2	773 25.5	54 0.7	16 4.7	103 0.3	6 1.8	39 28.1	2 0.1	6 0.3
	その他世帯	18 11.1	2 55.6	10 0.0	0 0.0	0 11.1	2 5.6	1 5.6	1 11.1	2 0.0	0 0.0
	不明	6 16.7	1 16.7	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	2 0.0	2 33.3

所得階層別にみると、上位所得層の母親の54.0%が正規の職員・従業員である。低所得層ほど、パート・アルバイトが増える（表2-1-3）。

表2-1-3 母親の働き方（所得階層区分）

（単位：人数、％）

	サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体	2,381	641 26.9	852 35.8	69 2.9	16 0.7	109 4.6	7 0.3	40 1.7	635 26.7	2 0.1	10 0.4
所得階層	低所得層Ⅰ	327 18.0	177 54.1	13 4.0	0 0.0	22 6.7	0 0.0	3 0.9	50 15.3	0 0.0	3 0.9
	低所得層Ⅱ	499 21.0	105 40.5	202 1.6	8 0.6	3 3.4	17 0.8	4 1.2	6 30.7	153 0.0	1 0.2
	中間所得層Ⅰ	468 19.2	90 38.5	180 3.4	16 0.2	1 3.0	14 0.2	1 1.9	9 33.1	155 0.0	2 0.4
	中間所得層Ⅱ	604 33.6	203 31.0	187 2.2	13 0.8	5 4.0	24 0.2	1 2.6	16 25.5	154 0.2	0 0.0
	上位所得層	287 54.0	155 11.5	33 3.5	10 1.4	4 7.3	21 0.3	1 1.4	4 20.6	59 0.0	0 0.0
	無回答	196 14.8	29 37.2	73 4.6	9 1.5	3 5.6	11 0.0	0 1.0	2 32.7	64 0.5	1 2.0

## (2) 父親の就業状況

父親の働き方については、全体で見ると、83.9%が正規の職員・従業員であり、8.3%が自営業である。子どもの年齢で見れば、5歳に自営が多い（表2-2-1）。

表2-2-1 父親の働き方（年齢別）

（単位：人数、％）

		サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体		2,216	1859 83.9	15 0.7	31 1.4	92 4.2	183 8.3	1 0.0	10 0.5	9 0.4	4 0.2	12 0.5
年 齢	2 歳	646	563 87.2	6 0.9	6 0.9	19 2.9	37 5.7	0 0.0	2 0.3	5 0.8	3 0.5	5 0.8
	5 歳	1,570	1296 82.5	9 0.6	25 1.6	73 4.6	146 9.3	1 0.1	8 0.5	4 0.3	1 0.1	7 0.4

世帯類型別にみる際は、ひとり親世帯（父子世帯）の回答世帯数が少ない（11世帯）ことに留意する必要がある。ただ、ひとり親世帯と二人親世帯で、大きな違いはみられない（表2-2-2）。

表2-2-2 父親の働き方（世帯類型）

（単位：人数、％）

		サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体		2,216	1859 83.9	15 0.7	31 1.4	92 4.2	183 8.3	1 0.0	10 0.5	9 0.4	4 0.2	12 0.5
世帯類型	ひとり親世帯	11	10 90.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1843 84.0	14 0.6	31 1.4	92 4.2	180 8.2	1 0.0	9 0.4	9 0.4	4 0.2	10 0.5
	その他世帯	9	5 55.6	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明	3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7



所得階層別では、低所得層Ⅰにおいて、他の階層より正規の職員・従業員の割合が低く（69.2%）、自営業の割合が他の所得階層より高い（18.9%）（表2-2-3）。

表2-2-3 父親の働き方（所得階層区分）

（単位：人数、%）

	サンプル数	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	嘱託 派遣社員・契約社員・	会社・団体等の役員	自営	内職	その他	働いていない	わからない	無回答
全 体	2,216	1859 83.9	15 0.7	31 1.4	92 4.2	183 8.3	1 0.0	10 0.5	9 0.4	4 0.2	12 0.5
所得階層	低所得層Ⅰ	227 69.2	7 3.1	8 3.5	2 0.9	43 18.9	0 0.0	2 0.9	4 1.8	0 0.0	4 1.8
	低所得層Ⅱ	477 84.3	0 0.0	9 1.9	17 3.6	42 8.8	1 0.2	1 0.2	4 0.8	0 0.0	1 0.2
	中間所得層Ⅰ	457 87.5	5 1.1	6 1.3	22 4.8	20 4.4	0 0.0	1 0.2	1 0.2	1 0.2	1 0.2
	中間所得層Ⅱ	598 89.5	1 0.2	2 0.3	25 4.2	30 5.0	0 0.0	4 0.7	0 0.0	1 0.2	0 0.0
	上位所得層	280 82.5	0 0.0	4 1.4	19 6.8	26 9.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	177 75.7	134 75.7	2 1.1	2 1.1	7 4.0	22 12.4	0 0.0	2 1.1	0 0.0	2 1.1

### 3 家計・生活不安について

#### (1) 家庭の普段の家計状況

普段の家計の状況について（表3-1）、2歳児5歳児で同程度の割合であり、ギリギリである家庭は、それぞれ36%、38%であった。赤字世帯は17%程度あることが分かる。これには所得階層の差が顕著であり、上位所得層の7割が貯金をしているところから、階層が下がるにしたがってその割合も下がる傾向にある（低所得層1では13%）。また、ひとり親世帯はギリギリと赤字の割合が約70%であった。二人親世帯では、54%であり、世帯類型別にみると、ひとり親世帯においてその割合が高い。一方、どの世帯も半分以上がギリギリ～赤字の苦しい生活と回答している点に留意する必要があるだろう。

表3-1 家庭の普段の家計状況

（単位：人数、％）

		サンプル 数	黒字であり 毎月貯金をして いる	黒字では あるが貯金をして いない	黒字でも 赤字でも 赤字よりも 赤字な 赤字な 赤字な	赤字であり 貯金をと りくずして いる	赤字であり 借金をして 生活して いる	無回答
全 体		2,419	783 32.4	236 9.8	906 37.5	297 12.3	120 5.0	77 3.2
年 齢	2歳	683	234 34.3	71 10.4	246 36.0	94 13.8	28 4.1	10 1.5
	5歳	1,736	549 31.6	165 9.5	660 38.0	203 11.7	92 5.3	67 3.9
所 得 階 層	低所得層Ⅰ	329	43 13.1	29 8.8	157 47.7	56 17.0	41 12.5	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	82 16.3	42 8.4	244 48.6	98 19.5	33 6.6	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	125 26.6	53 11.3	197 41.9	65 13.8	23 4.9	7 1.5
	中間所得層Ⅱ	607	275 45.3	65 10.7	184 30.3	58 9.6	18 3.0	7 1.2
	上位所得層	288	204 70.8	32 11.1	47 16.3	2 0.7	2 0.7	1 0.3
	無回答	223	54 24.2	15 6.7	77 34.5	18 8.1	3 1.3	56 25.1
世 帯 類 型	ひとり親世帯	175	29 16.6	17 9.7	83 47.4	18 10.3	21 12.0	7 4.0
	ふたり親世帯	2,193	746 34.0	216 9.8	812 37.0	275 12.5	97 4.4	47 2.1
	その他世帯	20	7 35.0	2 10.0	7 35.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0
	不明	31	1 3.2	1 3.2	4 12.9	1 3.2	1 3.2	23 74.2

## (2) 電気、ガス、水道のいずれかの料金

電気、ガス、水道いずれかの支払いが経済的な理由によりできなかったことがあるかを尋ねた（表3-2）。どの年齢区分も4パーセントほどが支払いできなかったことがあったと回答した。所得階層別にみると、低所得層Ⅰは14%にも上り、階層が上がるにつれてその割合は低くなる。世帯類型別にみると、ふたり親世帯で「あった」と答えた割合は3.8%であったのに対して、ひとり親世帯で13%であった。

表3-2 電気、ガス、水道のいずれかの料金

(単位：人数、%)

		サンプル数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
全 体		2,419	107 4.4	2,214 91.5	47 1.9	51 2.1
年 齢	2 歳	683	29 4.2	632 92.5	15 2.2	7 1.0
	5 歳	1,736	78 4.5	1,582 91.1	32 1.8	44 2.5
所得階層	低所得層Ⅰ	329	46 14.0	267 81.2	14 4.3	2 0.6
	低所得層Ⅱ	502	27 5.4	461 91.8	12 2.4	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	13 2.8	449 95.5	5 1.1	3 0.6
	中間所得層Ⅱ	607	9 1.5	587 96.7	7 1.2	4 0.7
	上位所得層	288	2 0.7	281 97.6	5 1.7	0 0.0
	無回答	223	10 4.5	169 75.8	4 1.8	40 17.9
世帯類型	ひとり親世帯	175	23 13.1	140 80.0	7 4.0	5 2.9
	ふたり親世帯	2,193	83 3.8	2,048 93.4	39 1.8	23 1.0
	その他世帯	20	1 5.0	18 90.0	1 5.0	0 0.0
	不明	31	0 0.0	8 25.8	0 0.0	23 74.2

### (3) 今後の生活（経済的・子育て）に対する不安感

今後の生活（経済的・子育てなど）に対して不安を感じている割合について（表3-3）、2歳児、5歳児共におよそ65%程度が「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した。所得階層別にみると、「やや感じている」割合はどの階層も30%と少しで大きな差がないものの、「感じている」と答える割合は低所得層Ⅰにおいて、おおよそ48%がそう回答した（上位所得層でおおよそ17%）。世帯類型別にみると、「感じている」割合は、ひとり親世帯が47%であり、ふたり親世帯の33%よりも高い割合であった。

表3-3 今後の生活（経済的・子育て）に対する不安感

（単位：人数、％）

		サンプル数	感じている	どちらかといえば感じている	どちらともいえない	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答
全 体		2,419	814 33.7	768 31.7	421 17.4	195 8.1	168 6.9	53 2.2
年 齢	2 歳	683	221 32.4	216 31.6	115 16.8	67 9.8	57 8.3	7 1.0
	5 歳	1,736	593 34.2	552 31.8	306 17.6	128 7.4	111 6.4	46 2.6
所得階層	低所得層Ⅰ	329	157 47.7	92 28.0	43 13.1	20 6.1	15 4.6	2 0.6
	低所得層Ⅱ	502	206 41.0	168 33.5	77 15.3	28 5.6	20 4.0	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	165 35.1	159 33.8	84 17.9	29 6.2	30 6.4	3 0.6
	中間所得層Ⅱ	607	186 30.6	195 32.1	108 17.8	68 11.2	47 7.7	3 0.5
	上位所得層	288	48 16.7	94 32.6	64 22.2	38 13.2	41 14.2	3 1.0
	無回答	223	52 23.3	60 26.9	45 20.2	12 5.4	15 6.7	39 17.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	83 47.4	48 27.4	23 13.1	7 4.0	9 5.1	5 2.9
	ふたり親世帯	2,193	722 32.9	710 32.4	392 17.9	188 8.6	157 7.2	24 1.1
	その他世帯	20	6 30.0	7 35.0	5 25.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0
	不明	31	3 9.7	3 9.7	1 3.2	0 0.0	0 0.0	24 77.4

## 4 健康について

### (1) 保護者の健康状態

「健康である」と答えた人は全体の82.6%で他の年代とほぼ同じである（表4-1）。養育者の2割程度が何らかの健康問題を抱えていることに留意が必要である。

所得階層が低いほど健康である人の割合が低い（上位所得層87.2%～低所得層Ⅰ80.2%）。ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、健康である人の割合が少ない（ひとり親世帯78.3%、ふたり親世帯83.9%）。

表4-1 保護者の健康状態

（単位：人数、%）

		サンプル数	健康である	通院している	入院中である	体調が悪い 通院していないが	障がい認定を受けている (難病を除く)	難病の指定を受けている	その他	無回答
全 体		2,419	1998 82.6	321 13.3	0 0.0	76 3.1	12 0.5	17 0.7	18 0.7	28 1.2
年 齢	2 歳	683	583 85.4	74 10.8	0 0.0	22 3.2	2 0.3	3 0.4	5 0.7	3 0.4
	5 歳	1,736	1415 81.5	247 14.2	0 0.0	54 3.1	10 0.6	14 0.8	13 0.7	25 1.4
所得階層	低所得層Ⅰ	329	264 80.2	43 13.1	0 0.0	17 5.2	4 1.2	3 0.9	5 1.5	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	423 84.3	59 11.8	0 0.0	21 4.2	2 0.4	3 0.6	3 0.6	0 0.0
	中間所得層Ⅰ	470	390 83.0	65 13.8	0 0.0	19 4.0	1 0.2	2 0.4	2 0.4	0 0.0
	中間所得層Ⅱ	607	508 83.7	92 15.2	0 0.0	7 1.2	3 0.5	5 0.8	4 0.7	0 0.0
	上位所得層	288	251 87.2	32 11.1	0 0.0	5 1.7	0 0.0	2 0.7	1 0.3	0 0.0
	無回答	223	162 72.6	30 13.5	0 0.0	7 3.1	2 0.9	2 0.9	3 1.3	27 12.1
世帯類型	ひとり親世帯	175	137 78.3	31 17.7	0 0.0	6 3.4	3 1.7	1 0.6	3 1.7	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1840 83.9	285 13.0	0 0.0	70 3.2	9 0.4	16 0.7	15 0.7	2 0.1
	その他世帯	20	16 80.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明	31	5 16.1	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 83.9

## (2) 保護者の心の健康状態

表4-2は保護者に対し過去1か月の心の状態を聞く設問に対する回答を得点化したものである。高いほど心の健康状態に問題があり、10点以上ではうつ病や不安障害などの可能性がある。10点以上の人は全体で9.9%であり、他の年代とほぼ同じである。

所得階層が低いほど10点以上の割合が高く（上位所得層6.3%～低所得層Ⅰ14.0%）、低所得層Ⅰと上位所得層では2倍以上の違いがある。

ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて10点以上の割合が約2倍高い（ひとり親世帯18.8%、ふたり親世帯9.3%）。

表4-2 保護者の心の健康状態

(単位：人数、%)

		サンプル数	0 ～ 4 点	5 ～ 9 点	10 ～ 14 点	15 点 以上	無 回 答	平均 (点)
全 体		2,419	1670 69.0	404 16.7	170 7.0	71 2.9	104 4.3	3.29 3.3
年 齢	2歳	683	489 71.6	114 16.7	33 4.8	24 3.5	23 3.4	3.1 3.1
	5歳	1,736	1181 68.0	290 16.7	137 7.9	47 2.7	81 4.7	3.36 3.4
所 得 階 層	低所得層Ⅰ	329	204 62.0	63 19.1	29 8.8	17 5.2	16 4.9	4.04 4.0
	低所得層Ⅱ	502	351 69.9	86 17.1	33 6.6	15 3.0	17 3.4	3.25 3.3
	中間所得層Ⅰ	470	331 70.4	80 17.0	32 6.8	13 2.8	14 3.0	3.24 3.2
	中間所得層Ⅱ	607	430 70.8	103 17.0	44 7.2	16 2.6	14 2.3	3.22 3.2
	上位所得層	288	225 78.1	41 14.2	12 4.2	6 2.1	4 1.4	2.53 2.5
	無回答	223	129 57.8	31 13.9	20 9.0	4 1.8	39 17.5	3.57 3.6
世 帯 類 型	ひとり親世帯	175	95 54.3	37 21.1	20 11.4	13 7.4	10 5.7	5.05 5.1
	ふたり親世帯	2,193	1558 71.0	365 16.6	148 6.7	56 2.6	66 3.0	3.15 3.2
	その他世帯	20	14 70.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	3.28 3.3
	不明	31	3 9.7	1 3.2	1 3.2	0 0.0	26 83.9	4 4.0

### (3) 子どもの健康状態

表4-3は保護者からみた子どもの健康状態を答えたものである。

「健康である」子どもが88.1%を占めるが、通院している病気がある子ども（8.6%）、障害がある子ども（2.5%）、発達に遅れのある子ども（4.3%）も少なくはない。

低所得層Ⅰでは他の所得階層と比べ、「健康である」子どもの割合がやや低く（84.5%）、通院している病気がある子ども、障害がある子ども、発達に遅れのある子どもの割合やや高い。

ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べて、「健康である」子どもの割合がやや低い、その差は顕著ではない（ひとり親世帯86.3%、ふたり親世帯89.0%）。

表4-3 子ども健康状態

(単位：人数、%)

		サンプル数	健康である	通院している病気がある	入院している	通院していないが体調が悪い	障がいがある(難病をのぞく)	指定難病の認定を受けている	発達に遅れがある	その他	無回答
全体		2,419	2132 88.1	207 8.6	0 0.0	7 0.3	60 2.5	7 0.3	105 4.3	36 1.5	23 1.0
年齢	2歳	683	621 90.9	48 7.0	0 0.0	2 0.3	11 1.6	1 0.1	18 2.6	11 1.6	2 0.3
	5歳	1,736	1511 87.0	159 9.2	0 0.0	5 0.3	49 2.8	6 0.3	87 5.0	25 1.4	21 1.2
所得階層	低所得層Ⅰ	329	278 84.5	34 10.3	0 0.0	3 0.9	14 4.3	2 0.6	18 5.5	4 1.2	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	445 88.6	48 9.6	0 0.0	1 0.2	14 2.8	1 0.2	26 5.2	10 2.0	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	425 90.4	41 8.7	0 0.0	0 0.0	7 1.5	2 0.4	15 3.2	6 1.3	0 0.0
	中間所得層Ⅱ	607	540 89.0	44 7.2	0 0.0	3 0.5	13 2.1	0 0.0	29 4.8	11 1.8	1 0.2
	上位所得層	288	261 90.6	23 8.0	0 0.0	0 0.0	5 1.7	0 0.0	9 3.1	3 1.0	0 0.0
	無回答	223	183 82.1	17 7.6	0 0.0	0 0.0	7 3.1	2 0.9	8 3.6	2 0.9	19 8.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	151 86.3	17 9.7	0 0.0	1 0.6	10 5.7	1 0.6	13 7.4	1 0.6	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1952 89.0	187 8.5	0 0.0	6 0.3	48 2.2	6 0.3	89 4.1	34 1.6	4 0.2
	その他世帯	20	17 85.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0
	不明	31	12 38.7	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	19 61.3

#### (4) 子どもに必要な病院受診をさせなかった経験

子どもを受診させる必要があったのに受診させなかった経験（表4-4）がある人は、全体で11.6%であり、他の年代よりもやや低く、2歳よりも5歳でやや高い（2歳9.8%、12.3%）。

所得階層が低いほど子どもを受診させなかった経験のある人の割合が高い（上位所得層11.1%～低所属層Ⅰ14.6%）が、他の年代と比べると所得階層間の差が小さい。

ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べ、子どもを受診させなかった経験のある人の割合が高い（ひとり親世帯17.7%、ふたり親世帯11.3%）。

表4-4 子どもに必要な病院受診をさせなかった経験

（単位：人数、%）

		サンプル数	あった	なかった	無回答
全 体		2,419	281 11.6	2111 87.3	27 1.1
年 齢	2 歳	683	67 9.8	613 89.8	3 0.4
	5 歳	1,736	214 12.3	1498 86.3	24 1.4
所得階層	低所得層Ⅰ	329	48 14.6	280 85.1	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	66 13.1	434 86.5	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	59 12.6	411 87.4	0 0.0
	中間所得層Ⅱ	607	64 10.5	543 89.5	0 0.0
	上位所得層	288	32 11.1	256 88.9	0 0.0
	無回答	223	12 5.4	187 83.9	24 10.8
世帯類型	ひとり親世帯	175	31 17.7	143 81.7	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	248 11.3	1942 88.6	3 0.1
	その他世帯	20	2 10.0	18 90.0	0 0.0
	不明	31	0 0.0	8 25.8	23 74.2



### (5) 自身が必要な病院受診をしなかった経験

自分自身が必要な受診をしなかった経験がある人は39.7%であり、子どもの受診と比較すると自身自身の受診を控える人の割合がかなり高い（表4-5）。

また、この割合は他の年代よりもやや高い。特に2歳児の保護者では45.1%にも上り、子どもの世話や仕事の休みにくさなどが関与していると思われる。

所得階層による差は顕著ではなく、上位所得層（33.7%）を除き、いずれの所得階層でも必要な受診をしなかった人の割合は高い。

ひとり親世帯の方がふたり親世帯に比べやや高いが（ひとり親世帯44.0%、ふたり親世帯40.2%）、その差は顕著ではなく、いずれもかなり高い。

表4-5 自身が必要な病院受診をしなかった経験

（単位：人数、%）

		サンプル数	あった	なかった	無回答
全 体		2,419	961 39.7	1427 59.0	31 1.3
年 齢	2 歳	683	308 45.1	372 54.5	3 0.4
	5 歳	1,736	653 37.6	1055 60.8	28 1.6
所得階層	低所得層Ⅰ	329	139 42.2	188 57.1	2 0.6
	低所得層Ⅱ	502	209 41.6	290 57.8	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	196 41.7	273 58.1	1 0.2
	中間所得層Ⅱ	607	243 40.0	364 60.0	0 0.0
	上位所得層	288	97 33.7	190 66.0	1 0.3
	無回答	223	77 34.5	122 54.7	24 10.8
世帯類型	ひとり親世帯	175	77 44.0	97 55.4	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	881 40.2	1305 59.5	7 0.3
	その他世帯	20	2 10.0	18 90.0	0 0.0
	不明	31	1 3.2	7 22.6	23 74.2

## 5 子どもの遊びについて

### (1) 子どもの遊びの状況（所得階層別、世帯構成別は無し）

子どもの遊びの状況（表5-1-①～⑯）については、「よくする」遊びとしては、2歳児では高い順に「①お散歩（ぶらぶらと歩きまわるなど）」73.4%、「⑪つみ木やブロックやパズル」71.9%、「⑯絵本や図鑑を読む」69.3%、「⑭折り紙や材料を使った製作遊び」66.5%となっている。

また、5歳児では「⑩ゲームや動画の視聴」75.0%、「④鬼ごっこやおいかげっこ」70.1%、「②公園の遊具で遊ぶ」68.0%、「⑮お絵かきやぬりえ」67.1%となっている。

所得階層区分別では、中間所得層Ⅱと上位所得層は、他の階層区分と比べて「⑩ゲームや動画の視聴」を「よくする」の割合が低くなっている。また、低所得層Ⅰでは「⑯絵本や図鑑を読む」を「よくする」46.2%であり、他の階層と比べて9%から15%ほど低くなっている。

表5-1-① 子どもの遊びの状況（お散歩・ぶらぶらと歩きまわるなど）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1,371 56.7	955 39.5	59 2.4	34 1.4
年 齢	2 歳	683	501 73.4	169 24.7	10 1.5	3 0.4
	5 歳	1,736	870 50.1	786 45.3	49 2.8	31 1.8
所得階層	低所得層Ⅰ	329	186 56.5	135 41.0	7 2.1	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	280 55.8	207 41.2	12 2.4	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	260 55.3	187 39.8	20 4.3	3 0.6
	中間所得層Ⅱ	607	376 61.9	214 35.3	12 2.0	5 0.8
	上位所得層	288	162 56.3	120 41.7	5 1.7	1 0.3
	無回答	223	107 48.0	92 41.3	3 1.3	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	92 52.6	73 41.7	8 4.6	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	1,263 57.6	870 39.7	49 2.2	11 0.5
	その他世帯	20	9 45.0	8 40.0	2 10.0	1 5.0
	不明	31	7 22.6	4 12.9	0 0.0	20 64.5

表5-1-② 子どもの遊びの状況（公園の遊具で遊ぶ・すべり台など）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1560 64.5	773 32.0	61 2.5	25 1.0
年 齢	2 歳	683	379 55.5	253 37.0	49 7.2	2 0.3
	5 歳	1,736	1181 68.0	520 30.0	12 0.7	23 1.3
所得階層	低所得層Ⅰ	329	219 66.6	101 30.7	9 2.7	0 0.0
	低所得層Ⅱ	502	320 63.7	170 33.9	10 2.0	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	288 61.3	165 35.1	15 3.2	2 0.4
	中間所得層Ⅱ	607	400 65.9	183 30.1	22 3.6	2 0.3
	上位所得層	288	195 67.7	91 31.6	2 0.7	0 0.0
	無回答	223	138 61.9	63 28.3	3 1.3	19 8.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	106 60.6	63 36.0	6 3.4	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1433 65.3	702 32.0	53 2.4	5 0.2
	その他世帯	20	12 60.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0
	不明	31	9 29.0	3 9.7	0 0.0	19 61.3

表5-1-③ 子どもの遊びの状況（砂場などでの砂や泥を使った遊び）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	980 40.5	1061 43.9	339 14.0	39 1.6
年 齢	2 歳	683	239 35.0	254 37.2	180 26.4	10 1.5
	5 歳	1,736	741 42.7	807 46.5	159 9.2	29 1.7
所得階層	低所得層Ⅰ	329	139 42.2	139 42.2	48 14.6	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	215 42.8	222 44.2	62 12.4	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	158 33.6	231 49.1	76 16.2	5 1.1
	中間所得層Ⅱ	607	260 42.8	253 41.7	88 14.5	6 1.0
	上位所得層	288	129 44.8	123 42.7	36 12.5	0 0.0
	無回答	223	79 35.4	93 41.7	29 13.0	22 9.9
世帯類型	ひとり親世帯	175	67 38.3	81 46.3	25 14.3	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	900 41.0	970 44.2	307 14.0	16 0.7
	その他世帯	20	9 45.0	6 30.0	4 20.0	1 5.0
	不明	31	4 12.9	4 12.9	3 9.7	20 64.5

表5-1-④ 子どもの遊びの状況（鬼ごっこやおいかけっこ）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1522 62.9	740 30.6	118 4.9	39 1.6
年 齢	2 歳	683	305 44.7	281 41.1	88 12.9	9 1.3
	5 歳	1,736	1217 70.1	459 26.4	30 1.7	30 1.7
所得階層	低所得層Ⅰ	329	213 64.7	97 29.5	16 4.9	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	331 65.9	150 29.9	15 3.0	6 1.2
	中間所得層Ⅰ	470	280 59.6	160 34.0	25 5.3	5 1.1
	中間所得層Ⅱ	607	394 64.9	167 27.5	42 6.9	4 0.7
	上位所得層	288	180 62.5	97 33.7	11 3.8	0 0.0
	無回答	223	124 55.6	69 30.9	9 4.0	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	99 56.6	66 37.7	9 5.1	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	1404 64.0	664 30.3	107 4.9	18 0.8
	その他世帯	20	13 65.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	6 19.4	5 16.1	1 3.2	19 61.3

表5-1-⑤ 子どもの遊びの状況（なわとびやゴムとび）

(単位：人数、%)

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	639 26.4	848 35.1	874 36.1	58 2.4
年 齢	2 歳	683	23 3.4	76 11.1	570 83.5	14 2.0
	5 歳	1,736	616 35.5	772 44.5	304 17.5	44 2.5
所得階層	低所得層Ⅰ	329	89 27.1	114 34.7	121 36.8	5 1.5
	低所得層Ⅱ	502	146 29.1	175 34.9	175 34.9	6 1.2
	中間所得層Ⅰ	470	110 23.4	162 34.5	187 39.8	11 2.3
	中間所得層Ⅱ	607	161 26.5	212 34.9	225 37.1	9 1.5
	上位所得層	288	76 26.4	117 40.6	91 31.6	4 1.4
	無回答	223	57 25.6	68 30.5	75 33.6	23 10.3
世帯類型	ひとり親世帯	175	44 25.1	64 36.6	65 37.1	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	589 26.9	771 35.2	798 36.4	35 1.6
	その他世帯	20	5 25.0	8 40.0	6 30.0	1 5.0
	不明	31	1 3.2	5 16.1	5 16.1	20 64.5

表5-1-⑥ 子どもの遊びの状況（虫や小さな生き物をとる）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	692 28.6	875 36.2	803 33.2	49 2.0
年 齢	2 歳	683	96 14.1	187 27.4	388 56.8	12 1.8
	5 歳	1,736	596 34.3	688 39.6	415 23.9	37 2.1
所得階層	低所得層Ⅰ	329	98 29.8	106 32.2	120 36.5	5 1.5
	低所得層Ⅱ	502	149 29.7	179 35.7	168 33.5	6 1.2
	中間所得層Ⅰ	470	114 24.3	184 39.1	167 35.5	5 1.1
	中間所得層Ⅱ	607	189 31.1	212 34.9	196 32.3	10 1.6
	上位所得層	288	82 28.5	120 41.7	84 29.2	2 0.7
	無回答	223	60 26.9	74 33.2	68 30.5	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	45 25.7	58 33.1	69 39.4	3 1.7
	ふたり親世帯	2,193	635 29.0	808 36.8	725 33.1	25 1.1
	その他世帯	20	8 40.0	6 30.0	5 25.0	1 5.0
	不明	31	4 12.9	3 9.7	4 12.9	20 64.5

表5-1-⑦ 子どもの遊びの状況（草花、木の枝や棒、石などの自然物で遊ぶ）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1377 56.9	880 36.4	131 5.4	31 1.3
年 齢	2 歳	683	388 56.8	230 33.7	60 8.8	5 0.7
	5 歳	1,736	989 57.0	650 37.4	71 4.1	26 1.5
所得階層	低所得層Ⅰ	329	185 56.2	119 36.2	22 6.7	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	285 56.8	185 36.9	29 5.8	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	255 54.3	180 38.3	33 7.0	2 0.4
	中間所得層Ⅱ	607	363 59.8	215 35.4	25 4.1	4 0.7
	上位所得層	288	175 60.8	101 35.1	12 4.2	0 0.0
	無回答	223	114 51.1	80 35.9	10 4.5	19 8.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	89 50.9	74 42.3	10 5.7	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	1269 57.9	796 36.3	120 5.5	8 0.4
	その他世帯	20	13 65.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	6 19.4	5 16.1	0 0.0	20 64.5



表5-1-⑧ 子どもの遊びの状況（ソリ遊び・冬季）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1333 55.1	844 34.9	198 8.2	44 1.8
年 齢	2 歳	683	237 34.7	262 38.4	167 24.5	17 2.5
	5 歳	1,736	1096 63.1	582 33.5	31 1.8	27 1.6
所得階層	低所得層Ⅰ	329	182 55.3	117 35.6	27 8.2	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	285 56.8	178 35.5	35 7.0	4 0.8
	中間所得層Ⅰ	470	238 50.6	178 37.9	46 9.8	8 1.7
	中間所得層Ⅱ	607	336 55.4	218 35.9	47 7.7	6 1.0
	上位所得層	288	175 60.8	92 31.9	19 6.6	2 0.7
	無回答	223	117 52.5	61 27.4	24 10.8	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	86 49.1	73 41.7	14 8.0	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	1230 56.1	762 34.7	180 8.2	21 1.0
	その他世帯	20	11 55.0	4 20.0	4 20.0	1 5.0
	不明	31	6 19.4	5 16.1	0 0.0	20 64.5

表5-1-⑨ 子どもの遊びの状況（水遊び・夏季）

(単位：人数、%)

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1353 55.9	924 38.2	107 4.4	35 1.4
年 齢	2 歳	683	277 40.6	314 46.0	85 12.4	7 1.0
	5 歳	1,736	1076 62.0	610 35.1	22 1.3	28 1.6
所得階層	低所得層Ⅰ	329	188 57.1	128 38.9	10 3.0	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	283 56.4	199 39.6	18 3.6	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	238 50.6	196 41.7	32 6.8	4 0.9
	中間所得層Ⅱ	607	355 58.5	218 35.9	29 4.8	5 0.8
	上位所得層	288	170 59.0	110 38.2	8 2.8	0 0.0
	無回答	223	119 53.4	73 32.7	10 4.5	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	93 53.1	72 41.1	9 5.1	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	1239 56.5	845 38.5	95 4.3	14 0.6
	その他世帯	20	13 65.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	8 25.8	2 6.5	2 6.5	19 61.3

表5-1-⑩ 子どもの遊びの状況（ゲームや動画の視聴）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1647 68.1	615 25.4	124 5.1	33 1.4
年 齢	2 歳	683	345 50.5	249 36.5	82 12.0	7 1.0
	5 歳	1,736	1302 75.0	366 21.1	42 2.4	26 1.5
所得階層	低所得層Ⅰ	329	232 70.5	77 23.4	20 6.1	0 0.0
	低所得層Ⅱ	502	363 72.3	118 23.5	16 3.2	5 1.0
	中間所得層Ⅰ	470	331 70.4	105 22.3	29 6.2	5 1.1
	中間所得層Ⅱ	607	397 65.4	176 29.0	32 5.3	2 0.3
	上位所得層	288	191 66.3	79 27.4	17 5.9	1 0.3
	無回答	223	133 59.6	60 26.9	10 4.5	20 9.0
世帯類型	ひとり親世帯	175	117 66.9	48 27.4	9 5.1	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	1510 68.9	557 25.4	114 5.2	12 0.5
	その他世帯	20	15 75.0	4 20.0	0 0.0	1 5.0
	不明	31	5 16.1	6 19.4	1 3.2	19 61.3

表5-1-⑪ 子どもの遊びの状況（つみ木やブロックやパズル）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1488 61.5	839 34.7	62 2.6	30 1.2
年 齢	2 歳	683	491 71.9	172 25.2	15 2.2	5 0.7
	5 歳	1,736	997 57.4	667 38.4	47 2.7	25 1.4
所得階層	低所得層Ⅰ	329	206 62.6	115 35.0	7 2.1	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	313 62.4	176 35.1	11 2.2	2 0.4
	中間所得層Ⅰ	470	276 58.7	179 38.1	11 2.3	4 0.9
	中間所得層Ⅱ	607	406 66.9	185 30.5	12 2.0	4 0.7
	上位所得層	288	176 61.1	101 35.1	11 3.8	0 0.0
	無回答	223	111 49.8	83 37.2	10 4.5	19 8.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	97 55.4	72 41.1	6 3.4	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1376 62.7	754 34.4	53 2.4	10 0.5
	その他世帯	20	12 60.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	3 9.7	7 22.6	2 6.5	19 61.3

表5-1-⑫ 子どもの遊びの状況（人形遊びやままごと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1428 59.0	774 32.0	180 7.4	37 1.5
年 齢	2 歳	683	414 60.6	197 28.8	67 9.8	5 0.7
	5 歳	1,736	1014 58.4	577 33.2	113 6.5	32 1.8
所得階層	低所得層Ⅰ	329	195 59.3	113 34.3	21 6.4	0 0.0
	低所得層Ⅱ	502	317 63.1	148 29.5	33 6.6	4 0.8
	中間所得層Ⅰ	470	261 55.5	169 36.0	35 7.4	5 1.1
	中間所得層Ⅱ	607	365 60.1	188 31.0	49 8.1	5 0.8
	上位所得層	288	175 60.8	94 32.6	19 6.6	0 0.0
	無回答	223	115 51.6	62 27.8	23 10.3	23 10.3
世帯類型	ひとり親世帯	175	87 49.7	72 41.1	16 9.1	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1328 60.6	691 31.5	158 7.2	16 0.7
	その他世帯	20	8 40.0	7 35.0	3 15.0	2 10.0
	不明	31	5 16.1	4 12.9	3 9.7	19 61.3

表5-1-⑬ 子どもの遊びの状況（ミニカーなどおもちゃでの遊び）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1330 55.0	842 34.8	205 8.5	42 1.7
年 齢	2 歳	683	454 66.5	183 26.8	38 5.6	8 1.2
	5 歳	1,736	876 50.5	659 38.0	167 9.6	34 2.0
所得階層	低所得層Ⅰ	329	186 56.5	118 35.9	24 7.3	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	290 57.8	176 35.1	29 5.8	7 1.4
	中間所得層Ⅰ	470	250 53.2	172 36.6	42 8.9	6 1.3
	中間所得層Ⅱ	607	329 54.2	216 35.6	56 9.2	6 1.0
	上位所得層	288	163 56.6	90 31.3	34 11.8	1 0.3
	無回答	223	112 50.2	70 31.4	20 9.0	21 9.4
	世帯類型	ひとり親世帯	175	94 53.7	65 37.1	15 8.6
	ふたり親世帯	2,193	1216 55.4	769 35.1	187 8.5	21 1.0
	その他世帯	20	13 65.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	7 22.6	3 9.7	2 6.5	19 61.3

表5-1-⑭ 子どもの遊びの状況（折り紙や材料を使った製作遊び）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1274 52.7	877 36.3	232 9.6	36 1.5
年 齢	2 歳	683	182 26.6	305 44.7	185 27.1	11 1.6
	5 歳	1,736	1092 62.9	572 32.9	47 2.7	25 1.4
所得階層	低所得層Ⅰ	329	172 52.3	127 38.6	29 8.8	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	262 52.2	188 37.5	48 9.6	4 0.8
	中間所得層Ⅰ	470	231 49.1	177 37.7	59 12.6	3 0.6
	中間所得層Ⅱ	607	341 56.2	205 33.8	54 8.9	7 1.2
	上位所得層	288	161 55.9	105 36.5	22 7.6	0 0.0
	無回答	223	107 48.0	75 33.6	20 9.0	21 9.4
世帯類型	ひとり親世帯	175	81 46.3	80 45.7	13 7.4	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	1174 53.5	788 35.9	216 9.8	15 0.7
	その他世帯	20	14 70.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	5 16.1	5 16.1	2 6.5	19 61.3

表5-1-⑮ 子どもの遊びの状況（お絵かきやぬりえ）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1554 64.2	755 31.2	69 2.9	41 1.7
年 齢	2 歳	683	389 57.0	248 36.3	38 5.6	8 1.2
	5 歳	1,736	1165 67.1	507 29.2	31 1.8	33 1.9
所得階層	低所得層Ⅰ	329	201 61.1	119 36.2	8 2.4	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	319 63.5	164 32.7	16 3.2	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	297 63.2	148 31.5	18 3.8	7 1.5
	中間所得層Ⅱ	607	424 69.9	162 26.7	15 2.5	6 1.0
	上位所得層	288	184 63.9	97 33.7	5 1.7	2 0.7
	無回答	223	129 57.8	65 29.1	7 3.1	22 9.9
世帯類型	ひとり親世帯	175	103 58.9	68 38.9	4 2.3	0 0.0
	ふたり親世帯	2,193	1436 65.5	674 30.7	64 2.9	19 0.9
	その他世帯	20	12 60.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	3 9.7	7 22.6	0 0.0	21 67.7



表5-1-⑯ 子どもの遊びの状況（絵本や図鑑を読む）

（単位：人数、％）

		サンプル数	よくする	ときどきする	まったくしない	無回答
全 体		2,419	1404 58.0	795 32.9	71 2.9	149 6.2
年 齢	2 歳	683	473 69.3	154 22.5	14 2.0	42 6.1
	5 歳	1,736	931 53.6	641 36.9	57 3.3	107 6.2
所得階層	低所得層Ⅰ	329	152 46.2	140 42.6	15 4.6	22 6.7
	低所得層Ⅱ	502	278 55.4	181 36.1	17 3.4	26 5.2
	中間所得層Ⅰ	470	274 58.3	162 34.5	12 2.6	22 4.7
	中間所得層Ⅱ	607	405 66.7	163 26.9	12 2.0	27 4.4
	上位所得層	288	177 61.5	85 29.5	8 2.8	18 6.3
	無回答	223	118 52.9	64 28.7	7 3.1	34 15.2
世帯類型	ひとり親世帯	175	83 47.4	76 43.4	6 3.4	10 5.7
	ふたり親世帯	2,193	1310 59.7	705 32.1	64 2.9	114 5.2
	その他世帯	20	8 40.0	9 45.0	1 5.0	2 10.0
	不明	31	3 9.7	5 16.1	0 0.0	23 74.2

1) 子どもが遊ぶことが多い場所

子どもの遊び場所（表5-2）については、高い順に、2歳児で「自宅」97.2%、「近所の空き地や公園」64.3%、「幼稚園や保育園など」54.9%となっています。また、5歳児では「自宅」95.2%、「幼稚園や保育園など」76.1%、「近所の空き地や公園」65.9%となっている。

所得階層区分別では、低所得層Ⅰは他の階層区分と比べて「ショッピングセンターや商店街」の割合が高くなっている。

表5-2 子どもが遊ぶことが多い場所

(単位：人数、%)

		サンプル数	自宅	友だちの家	近所の路地や道路	近所の空き地や公園	幼稚園や保育園など	ショッピングセンターや商店街	子育てひろば(サロン)や子育て支援センター	児童会館・公民館などの公共施設	その他	無回答
全 体		2,419	2316 95.7	177 7.3	320 13.2	1583 65.4	1696 70.1	185 7.6	150 6.2	83 3.4	145 6.0	23 1.0
年 齢	2 歳	683	664 97.2	28 4.1	103 15.1	439 64.3	375 54.9	59 8.6	118 17.3	39 5.7	40 5.9	2 0.3
	5 歳	1,736	1652 95.2	149 8.6	217 12.5	1144 65.9	1321 76.1	126 7.3	32 1.8	44 2.5	105 6.0	21 1.2
所得階層	低所得層Ⅰ	329	313 95.1	22 6.7	33 10.0	205 62.3	234 71.1	37 11.2	15 4.6	11 3.3	22 6.7	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	487 97.0	44 8.8	64 12.7	329 65.5	359 71.5	30 6.0	25 5.0	12 2.4	29 5.8	1 0.2
	中間所得層Ⅰ	470	451 96.0	31 6.6	66 14.0	313 66.6	314 66.8	42 8.9	40 8.5	24 5.1	35 7.4	1 0.2
	中間所得層Ⅱ	607	592 97.5	49 8.1	96 15.8	416 68.5	436 71.8	36 5.9	44 7.2	17 2.8	29 4.8	1 0.2
	上位所得層	288	277 96.2	19 6.6	36 12.5	188 65.3	218 75.7	20 6.9	17 5.9	12 4.2	16 5.6	0 0.0
	無回答	223	196 87.9	12 5.4	25 11.2	132 59.2	135 60.5	20 9.0	9 4.0	7 3.1	14 6.3	19 8.5
世帯類型	ひとり親世帯	175	164 93.7	10 5.7	24 13.7	101 57.7	130 74.3	21 12.0	2 1.1	5 2.9	12 6.9	1 0.6
	ふたり親世帯	2,193	2124 96.9	164 7.5	294 13.4	1463 66.7	1545 70.5	158 7.2	147 6.7	75 3.4	128 5.8	3 0.1
	その他世帯	20	18 90.0	1 5.0	1 5.0	8 40.0	15 75.0	4 20.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0
	不明	31	10 32.3	2 6.5	1 3.2	11 35.5	6 19.4	2 6.5	1 3.2	1 3.2	4 12.9	19 61.3

## 2) 休日に家族と遊ぶ頻度

休日に家族と遊ぶ頻度については、お母さんと遊ぶ頻度（表5-3）では、2歳児で「よく遊ぶ」84.9%と最も高くなっている。また5歳児では「よく遊ぶ」58.4と最も高く、次いで「ときどき遊ぶ」29.7%となっている。

お父さんと遊ぶ頻度（表5-4）については2歳児で「よく遊ぶ」が62.5%と最も高くなっている。また、5歳児では「よく遊ぶ」が47.4%と最も高く、次いで「ときどき遊ぶ」38.9%となっている。

表5-3 休日にお母さんと遊ぶ頻度

(単位：人数、%)

		サンプル数	よく遊ぶ	ときどき遊ぶ	まったく遊ばない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	1594 65.9	753 31.1	23 1.0	10 0.4	39 1.6
年 齢	2 歳	683	580 84.9	96 14.1	1 0.1	1 0.1	5 0.7
	5 歳	1,736	1014 58.4	657 37.8	22 1.3	9 0.5	34 2.0
所得階層	低所得層Ⅰ	329	205 62.3	118 35.9	1 0.3	4 1.2	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	330 65.7	159 31.7	7 1.4	2 0.4	4 0.8
	中間所得層Ⅰ	470	314 66.8	149 31.7	3 0.6	0 0.0	4 0.9
	中間所得層Ⅱ	607	418 68.9	179 29.5	6 1.0	1 0.2	3 0.5
	上位所得層	288	194 67.4	90 31.3	1 0.3	2 0.7	1 0.3
	無回答	223	133 59.6	58 26.0	5 2.2	1 0.4	26 11.7
世帯類型	ひとり親世帯	175	106 60.6	57 32.6	1 0.6	3 1.7	8 4.6
	ふたり親世帯	2,193	1472 67.1	687 31.3	22 1.0	6 0.3	6 0.3
	その他世帯	20	12 60.0	6 30.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0
	不明	31	4 12.9	3 9.7	0 0.0	0 0.0	24 77.4

表5-4 休日にお父さんと遊ぶ頻度

(単位：人数、%)

		サンプル数	よく遊ぶ	ときどき遊ぶ	まったく遊ばない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	1249 51.6	879 36.3	71 2.9	79 3.3	141 5.8
年 齢	2 歳	683	427 62.5	203 29.7	11 1.6	18 2.6	24 3.5
	5 歳	1,736	822 47.4	676 38.9	60 3.5	61 3.5	117 6.7
所得階層	低所得層Ⅰ	329	107 32.5	105 31.9	13 4.0	40 12.2	64 19.5
	低所得層Ⅱ	502	256 51.0	192 38.2	21 4.2	11 2.2	22 4.4
	中間所得層Ⅰ	470	256 54.5	186 39.6	13 2.8	6 1.3	9 1.9
	中間所得層Ⅱ	607	367 60.5	215 35.4	14 2.3	4 0.7	7 1.2
	上位所得層	288	172 59.7	102 35.4	4 1.4	5 1.7	5 1.7
	無回答	223	91 40.8	79 35.4	6 2.7	13 5.8	34 15.2
世帯類型	ひとり親世帯	175	13 7.4	10 5.7	2 1.1	56 32.0	94 53.7
	ふたり親世帯	2,193	1228 56.0	862 39.3	69 3.1	20 0.9	14 0.6
	その他世帯	20	5 25.0	5 25.0	0 0.0	3 15.0	7 35.0
	不明	31	3 9.7	2 6.5	0 0.0	0 0.0	26 83.9

表5-5 休日にその他の家族と遊ぶ頻度

(単位：人数、%)

		サンプル数	よく遊ぶ	ときどき遊ぶ	まったく遊ばない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	904 37.4	841 34.8	54 2.2	218 9.0	402 16.6
年 齢	2 歳	683	259 37.9	229 33.5	15 2.2	68 10.0	112 16.4
	5 歳	1,736	645 37.2	612 35.3	39 2.2	150 8.6	290 16.7
所得階層	低所得層Ⅰ	329	130 39.5	117 35.6	4 1.2	24 7.3	54 16.4
	低所得層Ⅱ	502	200 39.8	196 39.0	8 1.6	38 7.6	60 12.0
	中間所得層Ⅰ	470	174 37.0	147 31.3	14 3.0	49 10.4	86 18.3
	中間所得層Ⅱ	607	237 39.0	219 36.1	16 2.6	57 9.4	78 12.9
	上位所得層	288	93 32.3	100 34.7	7 2.4	37 12.8	51 17.7
	無回答	223	70 31.4	62 27.8	5 2.2	13 5.8	73 32.7
世帯類型	ひとり親世帯	175	57 32.6	60 34.3	5 2.9	13 7.4	40 22.9
	ふたり親世帯	2,193	830 37.8	778 35.5	48 2.2	203 9.3	334 15.2
	その他世帯	20	15 75.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0
	不明	31	2 6.5	1 3.2	0 0.0	2 6.5	26 83.9

## (2) 子育てひろば（サロン）・子育て支援センターなど

### 1) 近所に子育てひろば（サロン）・子育て支援センターなどの有無

親子があつまれる場については、21.1%が「ある」と回答している（表5-6）。所得階層区分別では、上位所得層で「ない」との回答が0.0%と最も低くなっている。全体で「無回答」75.4%と最も高くなっている。

表5-6 近所に子育てひろば（サロン）・子育て支援センターなどの有無（2歳のみ設問）

（単位：人数、%）

		サンプル数	ある	ない	無回答
全 体		683	144 21.1	24 3.5	515 75.4
年 齢	2 歳	683	144 21.1	24 3.5	515 75.4
	5 歳	-	-	-	-
所得階層	低所得層Ⅰ	81	17 21.0	5 6.2	59 72.8
	低所得層Ⅱ	133	33 24.8	4 3.0	96 72.2
	中間所得層Ⅰ	157	35 22.3	6 3.8	116 73.9
	中間所得層Ⅱ	196	42 21.4	8 4.1	146 74.5
	上位所得層	63	9 14.3	0 0.0	54 85.7
	無回答	53	8 15.1	1 1.9	44 83.0
世帯類型	ひとり親世帯	34	10 29.4	1 2.9	23 67.6
	ふたり親世帯	639	133 20.8	23 3.6	483 75.6
	その他世帯	6	1 16.7	0 0.0	5 83.3
	不明	4	0 0.0	0 0.0	4 100.0

2) 【2歳児対象】 その場所への行きやすさ

親子があつまれる場所への行きやすさ（表5-7）については、52.8%が「行きやすい」と回答している。所得階層区別では低所得層Ⅱで「行きにくい」とする回答が60%を超えている。

表5-7 その場所への行きやすさ（2歳のみ設問）

（単位：人数、%）

		サンプル数	行きやすい	行きにくい	無回答
全 体		144	76 52.8	66 45.8	2 1.4
年 齢	2 歳	144	76 52.8	66 45.8	2 1.4
	5 歳	—	—	—	—
所得階層	低所得層Ⅰ	17	10 58.8	7 41.2	0 0.0
	低所得層Ⅱ	33	12 36.4	20 60.6	1 3.0
	中間所得層Ⅰ	35	19 54.3	15 42.9	1 2.9
	中間所得層Ⅱ	42	25 59.5	17 40.5	0 0.0
	上位所得層	9	5 55.6	4 44.4	0 0.0
	無回答	8	5 62.5	3 37.5	0 0.0
世帯類型	ひとり親世帯	10	5 50.0	5 50.0	0 0.0
	ふたり親世帯	133	71 53.4	60 45.1	2 1.5
	その他世帯	1	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	不明	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

### 3) 行きにくい理由

親子があつまれる場所へ行きにくい理由としては、高い順に「仕事や家事などが忙しくて行く時間がない」56.1%、「行くきっかけがない」34.8%、「他の親子との関わりが面倒」30.3%、「開所時間や曜日が合わない」27.3%となっている（表5－8）。所得階層区別では中間所得層Ⅱで「行くきっかけがない」とする回答が60%を超えている。

表5－8 行きにくい理由（2歳のみ設問）

（単位：人数、％）

		サンプル数	開所時間や曜日が合わない	仕事や家事などが忙しくて行く時間がない	車が停められないなど交通手段のため	スタッフやボランティアと性格や考えなどが合わない	他の親子との関わりが面倒	子どもの年齢に合わないなど行く必要を感じない	行くきっかけがない	その他
全 体		66	18 27.3	37 56.1	4 6.1	1 1.5	20 30.3	3 4.5	23 34.8	9 13.6
年 齢	2 歳	66	18 27.3	37 56.1	4 6.1	1 1.5	20 30.3	3 4.5	23 34.8	9 13.6
	5 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—
所得階層	低所得層Ⅰ	7	2 28.6	4 57.1	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	2 28.6
	低所得層Ⅱ	20	7 35.0	12 60.0	0 0.0	0 0.0	8 40.0	1 5.0	5 25.0	1 5.0
	中間所得層Ⅰ	15	2 13.3	7 46.7	1 6.7	0 0.0	2 13.3	0 0.0	5 33.3	5 33.3
	中間所得層Ⅱ	17	4 23.5	9 52.9	2 11.8	1 5.9	6 35.3	2 11.8	11 64.7	0 0.0
	上位所得層	4	2 50.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	無回答	3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
世帯類型	ひとり親世帯	5	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0
	ふたり親世帯	60	17 28.3	34 56.7	3 5.0	1 1.7	19 31.7	3 5.0	21 35.0	8 13.3
	その他世帯	1	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



## 6 幼児教育・保育について

### (1) 家庭以外の保育や幼児教育

全体として、「受けていない」は1割強であり、2歳では34.4%、5歳では1.8%であった。所得階層別にみると、幼稚園は中間所得層での利用が多く、認可保育所は低所得層と所得上位層での利用が多い傾向にあった(表6-1)。世帯類型別では、ひとり親世帯では認可保育所の利用が56.0%と高く、ふたり親世帯とその他世帯では幼稚園と認可保育所がそれぞれ3~4割程度の利用率であった。

表6-1 家庭以外の保育や幼児教育

(単位：人数、%)

		サンプル数	幼稚園	認可保育所	認定こども園	認可外保育施設	その他	受けていない	無回答
全 体		2,419	718 29.7	806 33.3	508 21.0	38 1.6	18 0.7	266 11.0	65 2.7
年 齢	2 歳	683	27 4.0	205 30.0	136 19.9	35 5.1	13 1.9	235 34.4	32 4.7
	5 歳	1,736	691 39.8	601 34.6	372 21.4	3 0.2	5 0.3	31 1.8	33 1.9
所得階層	低所得層Ⅰ	329	71 21.6	161 48.9	63 19.1	4 1.2	3 0.9	26 7.9	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	155 30.9	182 36.3	100 19.9	2 0.4	4 0.8	48 9.6	11 2.2
	中間所得層Ⅰ	470	149 31.7	133 28.3	99 21.1	10 2.1	4 0.9	68 14.5	7 1.5
	中間所得層Ⅱ	607	197 32.5	173 28.5	134 22.1	15 2.5	5 0.8	71 11.7	12 2.0
	上位所得層	288	78 27.1	101 35.1	72 25.0	5 1.7	1 0.3	25 8.7	6 2.1
	無回答	223	68 30.5	56 25.1	40 17.9	2 0.9	1 0.4	28 12.6	28 12.6
世帯類型	ひとり親世帯	175	27 15.4	98 56.0	37 21.1	4 2.3	1 0.6	6 3.4	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	679 31.0	700 31.9	468 21.3	33 1.5	15 0.7	258 11.8	40 1.8
	その他世帯	20	8 40.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
	不明	31	4 12.9	1 3.2	0 0.0	1 3.2	0 0.0	2 6.5	23 74.2

## (2) 現在通っている幼稚園・保育所・認定こども園で保育料以外の費用負担感

全体として、「負担感はない」「あまり負担感はない」を合わせて61.3%、「負担感がある」「やや負担感がある」を合わせて23.3%であり、保育料以外の費用負担感は小さいという回答が過半数であった（表6-2）。年齢による傾向の差異は認められなかった。しかし、所得階層別にみると、「負担感はない」では上位所得層（48.6%）に次いで低所得層Ⅰ（39.7%）で高く、「負担感がある」では低所得層Ⅱ（10.4%）と中間所得層Ⅰ（8.9%）で高い傾向にあった。また、世帯類型別にみると、「負担感はない」ではその他世帯（50.0%）に次いで「ひとり親世帯」（46.1%）で高く、「負担感がある」ではふたり親世帯（7.3%）が最も高かった。

表6-2 現在通っている幼稚園・保育所・認定こども園で保育料以外の費用負担感

（単位：人数、%）

	サンプル数	負担感はない	あまり負担感はない	どちらともいえない	やや負担感がある	負担感がある	無回答
全体	2,088	717 34.3	564 27.0	288 13.8	339 16.2	149 7.1	31 1.5
年齢	2歳	416 38.0	158 23.3	97 13.0	54 13.7	57 8.4	35 3.6
	5歳	1,672 33.4	559 27.9	467 14.0	234 16.9	282 6.8	114 1.0
所得階層	低所得層Ⅰ	302 39.7	120 23.2	70 12.6	38 14.6	44 7.6	23 2.3
	低所得層Ⅱ	443 28.2	125 27.3	121 12.9	57 19.4	86 10.4	46 1.8
	中間所得層Ⅰ	395 30.9	122 25.6	101 14.9	59 18.7	74 8.9	35 1.0
	中間所得層Ⅱ	524 33.4	175 28.2	148 15.5	81 16.0	84 6.1	32 0.8
	上位所得層	257 48.6	125 28.0	72 10.1	26 10.9	28 1.6	4 0.8
	無回答	167 29.9	50 31.1	52 16.2	27 13.8	23 5.4	9 3.6
世帯類型	ひとり親世帯	167 46.1	77 22.2	37 9.6	16 13.8	23 6.0	10 2.4
	ふたり親世帯	1,895 33.1	628 27.5	522 14.2	269 16.5	313 7.3	138 1.3
	その他世帯	20 50.0	10 25.0	5 15.0	3 5.0	1 5.0	1 0.0
	不明	6 33.3	2 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0

### (3) 幼児教育・保育の無償化の実施後の経済的ゆとり

全体として、「かなりゆとりができた」と「多少ゆとりができた」を合わせて53.2%であり、約半数の世帯では無償化が経済的なゆとりを生んだことを示唆する（表6-3）。しかし、所得階層別にみると、より経済的なゆとりを得ているのは所得上位層（「かなりゆとりができた」33.6%）であり、低所得層Ⅱの16.4%の倍以上であった。また、世帯類型別にみると、その他世帯で「かなりゆとりができた」が42.9%と高かった。

表6-3 幼児教育・保育の無償化の実施後の経済的ゆとり（5歳のみ設問）

（単位：人数、%）

		サンプル数	かなりゆとりができた	多少ゆとりができた	どちらともいえない	ゆとりはできていない	わからない	無回答
全体		1,672	342 20.5	546 32.7	313 18.7	295 17.6	62 3.7	114 6.8
年齢	2歳	-	-	-	-	-	-	-
	5歳	1,672	342 20.5	546 32.7	313 18.7	295 17.6	62 3.7	114 6.8
所得階層	低所得層Ⅰ	243	42 17.3	64 26.3	51 21.0	58 23.9	13 5.3	15 6.2
	低所得層Ⅱ	360	59 16.4	116 32.2	74 20.6	87 24.2	5 1.4	19 5.3
	中間所得層Ⅰ	306	59 19.3	95 31.0	61 19.9	69 22.5	10 3.3	12 3.9
	中間所得層Ⅱ	402	84 20.9	152 37.8	67 16.7	52 12.9	11 2.7	36 9.0
	上位所得層	217	73 33.6	79 36.4	31 14.3	13 6.0	9 4.1	12 5.5
	無回答	144	25 17.4	40 27.8	29 20.1	16 11.1	14 9.7	20 13.9
世帯類型	ひとり親世帯	137	31 22.6	22 16.1	32 23.4	28 20.4	10 7.3	14 10.2
	ふたり親世帯	1,516	305 20.1	520 34.3	275 18.1	265 17.5	52 3.4	99 6.5
	その他世帯	14	6 42.9	3 21.4	3 21.4	2 14.3	0 0.0	0 0.0
	不明	5	0 0.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0

## 7 社会的ネットワークと子育ての悩みについて

### (1) 立ち話する人

立ち話をする人の有無（表7-1）については、「他の子どもの親」が全体で63.0%と最も多い。ただ、2歳児（45.7%）と5歳児（69.9%）ではかなりの差が生じている。次に高いのが「職場の人」で、全体で52.8%で、こちらも2歳児で44.2%、5歳児で56.2%と差が確認できる。なお、「そのような人はいない」は全体で10.3%であり、特に2歳児で16.8%と高くなっている。

所得階層区分でみると、「そのような人はいない」が、上位所得層では7.3%であるのに対し、低所得層Ⅱで12.4%、低所得層Ⅰで12.8%と、低所得になるほど高くなっている。

表7-1 立ち話する人の有無

（単位：人数、%）

		サンプル数	親 他の 子ども の	職 場 の 人	近 所 の 人	人 そ れ 以 外 の 友 人 ・ 知 人	そ の 他	は い な い そ の よ う な 人	無 回 答
全 体		2,419	1525 63.0	1278 52.8	877 36.3	1121 46.3	52 2.1	249 10.3	34 1.4
年 齢	2 歳	683	312 45.7	302 44.2	235 34.4	283 41.4	18 2.6	115 16.8	4 0.6
	5 歳	1,736	1213 69.9	976 56.2	642 37.0	838 48.3	34 2.0	134 7.7	30 1.7
所 得 階 層	低所得層Ⅰ	329	198 60.2	194 59.0	101 30.7	171 52.0	10 3.0	42 12.8	1 0.3
	低所得層Ⅱ	502	315 62.7	238 47.4	176 35.1	248 49.4	14 2.8	62 12.4	1 0.2
	中間所得層Ⅰ	470	303 64.5	237 50.4	166 35.3	219 46.6	7 1.5	45 9.6	0 0.0
	中間所得層Ⅱ	607	400 65.9	346 57.0	243 40.0	268 44.2	12 2.0	53 8.7	2 0.3
	上位所得層	288	190 66.0	179 62.2	114 39.6	129 44.8	5 1.7	21 7.3	1 0.3
	無回答	223	119 53.4	84 37.7	77 34.5	86 38.6	4 1.8	26 11.7	29 13.0
世 帯 類 型	ひとり親世帯	175	91 52.0	110 62.9	51 29.1	109 62.3	3 1.7	15 8.6	2 1.1
	ふたり親世帯	2,193	1422 64.8	1155 52.7	816 37.2	997 45.5	47 2.1	231 10.5	9 0.4
	その他世帯	20	9 45.0	9 45.0	7 35.0	12 60.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0
	不明	31	3 9.7	4 12.9	3 9.7	3 9.7	0 0.0	0 0.0	23 74.2

## (2) 預かってくれる人

子どもを半日程度預かってくれる人の有無（表7-2）については、預け先としては「同居していない家族・親戚」が最も高く、全体で66.3%、2歳児で63.8%、5歳児で67.2%となっており、次に高いのが「同居の家族」で、全体で43.7%、2歳児で46.1%、5歳児で42.7%であった。「保育園等の一時預かりや延長保育」が3番目に高く、全体で24.5%となっている。一方で、「頼める人はいない」は全体で9.8%であった。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯は、ふたり親世帯の値をほぼすべてで下回っており、「友人・知人（職場・近所以外）」「その他」「頼める人はいない」の3項目のみ若干上回っている。

表7-2 預かってくれる人の有無

（単位：人数、%）

	サンプル数	同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	他の子どもの親	知人	それ以外の友人・知人	保育園等の一時預かりや延長保育	その他	頼める人はいない	無回答
全体	2,419	1057 43.7	1603 66.3	22 0.9	25 1.0	145 6.0	89 3.7	592 24.5	37 1.5	236 9.8	61 2.5	
年齢	2歳	683 46.1	436 63.8	3 0.4	4 0.6	17 2.5	16 2.3	160 23.4	13 1.9	80 11.7	12 1.8	
	5歳	1,736 42.7	1167 67.2	19 1.1	21 1.2	128 7.4	73 4.2	432 24.9	24 1.4	156 9.0	49 2.8	
所得階層	低所得層Ⅰ	329 39.2	222 67.5	2 0.6	1 0.3	24 7.3	14 4.3	65 19.8	9 2.7	29 8.8	2 0.6	
	低所得層Ⅱ	502 45.0	358 71.3	3 0.6	4 0.8	26 5.2	18 3.6	119 23.7	8 1.6	46 9.2	5 1.0	
	中間所得層Ⅰ	470 42.1	310 66.0	5 1.1	4 0.9	28 6.0	13 2.8	123 26.2	6 1.3	50 10.6	4 0.9	
	中間所得層Ⅱ	607 45.0	409 67.4	4 0.7	9 1.5	39 6.4	26 4.3	158 26.0	9 1.5	61 10.0	15 2.5	
	上位所得層	288 49.7	188 65.3	4 1.4	3 1.0	18 6.3	10 3.5	78 27.1	3 1.0	21 7.3	5 1.7	
	無回答	223 39.5	88 52.0	116 52.0	4 1.8	4 1.8	10 4.5	8 3.6	49 22.0	2 0.9	29 13.0	30 13.5
世帯類型	ひとり親世帯	175 29.1	101 57.7	1 0.6	1 0.6	6 3.4	15 8.6	37 21.1	4 2.3	20 11.4	2 1.1	
	ふたり親世帯	2,193 45.0	1489 67.9	21 1.0	24 1.1	136 6.2	73 3.3	550 25.1	32 1.5	214 9.8	35 1.6	
	その他世帯	20 80.0	10 50.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	4 20.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	
	不明	31 9.7	3 9.7	3 9.7	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	1 3.2	1 3.2	1 3.2	24 77.4

### (3) 子育ての悩み

日ごろの子育ての悩み（表7-3-①～⑩）について、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計でみると、全体で最も高いのは「⑦子育てや教育にお金がかかること」（54.7%）で、ほぼ同じ値で並ぶのが「②子どもへの関わり方やしつけに関すること」（54.4%）である。3番目に高いのは「⑧仕事や家事と子育てとの両立が大変なこと」（49.1%）であった。

年齢別でみると、2歳児で最も高いのは「②子どもへの関わり方やしつけに関すること」（57.4%）で、5歳で最も高いのは「⑦子育てや教育にお金がかかること」（55.4%）と順番は前後するが、基本的な傾向は同じといえる。

表7-3-① 子育ての悩み（子どもの発達や健康に関すること）

（単位：人数、%）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	415 17.2	630 26.0	298 12.3	400 16.5	635 26.3	41 1.7
年 齢	2 歳	683	131 19.2	187 27.4	83 12.2	105 15.4	171 25.0	6 0.9
	5 歳	1,736	284 16.4	443 25.5	215 12.4	295 17.0	464 26.7	35 2.0

表7-3-② 子育ての悩み（子どもへの関わり方やしつけに関すること）

（単位：人数、%）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	552 22.8	765 31.6	338 14.0	312 12.9	402 16.6	50 2.1
年 齢	2 歳	683	168 24.6	224 32.8	88 12.9	82 12.0	111 16.3	10 1.5
	5 歳	1,736	384 22.1	541 31.2	250 14.4	230 13.2	291 16.8	40 2.3

表7-3-③ 子育ての悩み（子育てや家事を手伝ってくれる身近な人がいないこと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	201 8.3	279 11.5	382 15.8	503 20.8	1007 41.6	47 1.9
年 齢	2 歳	683	67 9.8	94 13.8	104 15.2	142 20.8	268 39.2	8 1.2
	5 歳	1,736	134 7.7	185 10.7	278 16.0	361 20.8	739 42.6	39 2.2

表7-3-④ 子育ての悩み（気軽に子育ての話をしたり親子で一緒に遊んだりできる人がいないこと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	172 7.1	293 12.1	354 14.6	518 21.4	1033 42.7	49 2.0
年 齢	2 歳	683	59 8.6	114 16.7	101 14.8	141 20.6	260 38.1	8 1.2
	5 歳	1,736	113 6.5	179 10.3	253 14.6	377 21.7	773 44.5	41 2.4

表7-3-⑤ 子育ての悩み（安心して子どもを遊ばせることのできる身近な場所がないこと）

(単位：人数、%)

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	155 6.4	314 13.0	382 15.8	539 22.3	986 40.8	43 1.8
年 齢	2 歳	683	46 6.7	89 13.0	112 16.4	142 20.8	287 42.0	7 1.0
	5 歳	1,736	109 6.3	225 13.0	270 15.6	397 22.9	699 40.3	36 2.1

表7-3-⑥ 子育ての悩み（配偶者との考え方の違いが大きいこと）

(単位：人数、%)

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	146 6.0	213 8.8	454 18.8	474 19.6	1017 42.0	115 4.8
年 齢	2 歳	683	44 6.4	52 7.6	135 19.8	132 19.3	298 43.6	22 3.2
	5 歳	1,736	102 5.9	161 9.3	319 18.4	342 19.7	719 41.4	93 5.4



表7-3-⑦ 子育ての悩み（子育てや教育にお金がかかること）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	699 28.9	625 25.8	475 19.6	239 9.9	338 14.0	43 1.8
年 齢	2 歳	683	196 28.7	167 24.5	135 19.8	80 11.7	100 14.6	5 0.7
	5 歳	1,736	503 29.0	458 26.4	340 19.6	159 9.2	238 13.7	38 2.2

表7-3-⑧ 子育ての悩み（仕事や家事と子育てとの両立が大変なこと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	629 26.0	558 23.1	411 17.0	276 11.4	482 19.9	63 2.6
年 齢	2 歳	683	193 28.3	159 23.3	110 16.1	60 8.8	149 21.8	12 1.8
	5 歳	1,736	436 25.1	399 23.0	301 17.3	216 12.4	333 19.2	51 2.9

表7-3-⑨ 子育ての悩み（自分が情緒不安定や体調不良になることが多く精神的余裕がないこと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	211 8.7	376 15.5	486 20.1	470 19.4	829 34.3	47 1.9
年 齢	2 歳	683	60 8.8	121 17.7	126 18.4	130 19.0	239 35.0	7 1.0
	5 歳	1,736	151 8.7	255 14.7	360 20.7	340 19.6	590 34.0	40 2.3

表7-3-⑩ 子育ての悩み（子育てや保育に関する正確な情報が分からないこと）

（単位：人数、％）

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
全 体		2,419	96 4.0	260 10.7	582 24.1	527 21.8	840 34.7	114 4.7
年 齢	2 歳	683	42 6.1	83 12.2	166 24.3	128 18.7	240 35.1	24 3.5
	5 歳	1,736	54 3.1	177 10.2	416 24.0	399 23.0	600 34.6	90 5.2

#### (4) 悩みを相談する相手

「相談する人はいない」という回答は全体で2.3%であり、回答者のほとんどが何らかの相談相手を持っていることがわかる（表7-4）。相談相手は「同居の家族」（71.7%）、「同居していない家族・親戚」（69.7%）が高い。以下、「友人・知人（職場、近所以外）」が54.2%、「保育園や幼稚園の先生」（38.9%）、「職場の人」（31.0%）と続く。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯は「同居の家族」（23.4%）、「同居していない家族・親せき」（56.0%）がふたり親世帯に比べると少なく、「職場の人」（40.6%）が相対的に多い。ふたり親世帯は「同居の家族」が76.4%と高いが、これは同時にふたり親世帯の約24%が、同居家族が相談相手となっていないことを示す。

表7-4 悩みを相談する相手

(単位：人数、%)

		サンプル数	同居の家族	同居していない家族・親せき	職場の人	近所の人	それ以外の友人・知人	学校の先生（保育園や幼稚園の先生）	地域の相談員・相談機関	医師等の専門家	SNSのみで交流がある人	その他	相談する人はいない	無回答
全 体		2,419	1734 71.7	1687 69.7	749 31.0	137 5.7	1311 54.2	942 38.9	154 6.4	125 5.2	88 3.6	25 1.0	55 2.3	50 2.1
年 齢	2 歳	683	521 76.3	507 74.2	180 26.4	38 5.6	358 52.4	242 35.4	49 7.2	33 4.8	33 4.8	7 1.0	14 2.0	9 1.3
	5 歳	1,736	1213 69.9	1180 68.0	569 32.8	99 5.7	953 54.9	700 40.3	105 6.0	92 5.3	55 3.2	18 1.0	41 2.4	41 2.4
所得階層	低所得層Ⅰ	329	180 54.7	219 66.6	109 33.1	21 6.4	179 54.4	127 38.6	19 5.8	17 5.2	22 6.7	3 0.9	6 1.8	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	372 74.1	359 71.5	145 28.9	20 4.0	287 57.2	207 41.2	30 6.0	25 5.0	26 5.2	4 0.8	14 2.8	6 1.2
	中間所得層Ⅰ	470	351 74.7	343 73.0	131 27.9	23 4.9	244 51.9	153 32.6	32 6.8	15 3.2	12 2.6	5 1.1	12 2.6	6 1.3
	中間所得層Ⅱ	607	480 79.1	435 71.7	196 32.3	51 8.4	345 56.8	269 44.3	41 6.8	35 5.8	16 2.6	6 1.0	11 1.8	1 0.2
	上位所得層	288	219 76.0	203 70.5	114 39.6	14 4.9	151 52.4	117 40.6	17 5.9	23 8.0	5 1.7	3 1.0	7 2.4	3 1.0
	無回答	223	132 59.2	128 57.4	54 24.2	8 3.6	105 47.1	69 30.9	15 6.7	10 4.5	7 3.1	4 1.8	5 2.2	31 13.9
世帯類型	ひとり親世帯	175	41 23.4	98 56.0	71 40.6	8 4.6	99 56.6	65 37.1	9 5.1	8 4.6	13 7.4	4 2.3	7 4.0	3 1.7
	ふたり親世帯	2,193	1675 76.4	1575 71.8	670 30.6	129 5.9	1195 54.5	864 39.4	140 6.4	111 5.1	73 3.3	21 1.0	48 2.2	24 1.1
	その他世帯	20	14 70.0	11 55.0	7 35.0	0 0.0	13 65.0	12 60.0	5 25.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明	31	4 12.9	3 9.7	1 3.2	0 0.0	4 12.9	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 74.2

## 8 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について

### (1) 新型コロナウイルス感染症の母親の仕事への影響

新型コロナウイルス感染拡大の母親の仕事への影響(表8-1)については、年齢別で差がみられたのは、「一時的に仕事を休んだ・休業した」で2歳では18.0%であったのが、5歳では29.8%であった。所得階層別でみると、「一時的に仕事を休んだ・休業した」「仕事時間が減った」において、所得階層が低くなるほど、該当する者の割合が高くなっていた。世帯類型別でみると、「ひとり親世帯」でより厳しい影響があり、「失業した・仕事をやめた」が5.5%、「一時的に仕事を休んだ・休業した」が37.8%、「仕事時間が減った」が12.2%であり、「ふたり親世帯」ではそれぞれ2.6%、25.7%、8.0%であった。

表8-1 新型コロナウイルス感染症の母親の仕事への影響

(単位：人数、%)

		サンプル数	やめた 失業した・仕事を やめた	一時的に仕事を休 んだ・休業した	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあ った	あてはまるもの はない	無回答
全 体		2,381	69 2.9	630 26.5	199 8.4	90 3.8	13 0.5	1464 61.5	55 2.3
年 齢	2歳	679	24 3.5	122 18.0	48 7.1	22 3.2	7 1.0	478 70.4	14 2.1
	5歳	1,702	45 2.6	508 29.8	151 8.9	68 4.0	6 0.4	986 57.9	41 2.4
所 得 階 層	低所得層Ⅰ	327	16 4.9	126 38.5	46 14.1	10 3.1	4 1.2	149 45.6	8 2.4
	低所得層Ⅱ	499	17 3.4	141 28.3	53 10.6	12 2.4	0 0.0	300 60.1	8 1.6
	中間所得層Ⅰ	468	9 1.9	114 24.4	35 7.5	19 4.1	2 0.4	305 65.2	10 2.1
	中間所得層Ⅱ	604	19 3.1	133 22.0	36 6.0	32 5.3	3 0.5	401 66.4	8 1.3
	上位所得層	287	2 0.7	63 22.0	17 5.9	13 4.5	0 0.0	196 68.3	4 1.4
	無回答	196	6 3.1	53 27.0	12 6.1	4 2.0	4 2.0	113 57.7	17 8.7
世 帯 類 型	ひとり親世帯	164	9 5.5	62 37.8	20 12.2	9 5.5	1 0.6	73 44.5	6 3.7
	ふたり親世帯	2,193	58 2.6	563 25.7	176 8.0	79 3.6	12 0.5	1379 62.9	49 2.2
	その他世帯	18	0 0.0	5 27.8	2 11.1	2 11.1	0 0.0	9 50.0	0 0.0
	不明	6	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0

## (2) 新型コロナウイルス感染症の父親の仕事への影響

父親の仕事への影響では、「一時的に仕事を休んだ・休業した」で、2歳では13.2%であったのに対し、5歳では18.2%であり、母親より影響は少ないものの、年齢別で差がみられた（表8-2）。所得階層別でみると、母親同様、「一時的に仕事を休んだ・休業した」「仕事時間が減った」において、所得階層が低くなるほど、該当する者の割合が高くなっていた。加えて、父親では、低所得層Ⅰにおいて「失業した・仕事をやめた」が5.7%と他の階層に比べ、顕著に高い特徴がみられた。世帯類型別では、ひとり親世帯に該当する者の人数が少ないため、単純な比較はできないが、「一時的に仕事を休んだ・休業した」が45.5%と、ふたり親世帯の16.6%と比べ顕著に高かった。

表8-2 新型コロナウイルス感染症の父親の仕事への影響

(単位：人数、%)

		サンプル数	やめた 失業した・仕事を	一時的に仕事を休 んだ・休業した	仕事時間が減った	仕事時間が増えた	給料の不払いがあ った	ない あてはまるものは	無回答
全 体		2,216	24 1.1	371 16.7	200 9.0	138 6.2	6 0.3	1503 67.8	49 2.2
年 齢	2 歳	646	9 1.4	85 13.2	63 9.8	42 6.5	1 0.2	454 70.3	17 2.6
	5 歳	1,570	15 1.0	286 18.2	137 8.7	96 6.1	5 0.3	1049 66.8	32 2.0
所得階層	低所得層Ⅰ	227	13 5.7	49 21.6	26 11.5	10 4.4	3 1.3	132 58.1	9 4.0
	低所得層Ⅱ	477	5 1.0	99 20.8	53 11.1	32 6.7	1 0.2	303 63.5	7 1.5
	中間所得層Ⅰ	457	2 0.4	67 14.7	47 10.3	25 5.5	1 0.2	320 70.0	9 2.0
	中間所得層Ⅱ	598	2 0.3	84 14.0	42 7.0	47 7.9	1 0.2	429 71.7	8 1.3
	上位所得層	280	1 0.4	39 13.9	18 6.4	18 6.4	0 0.0	208 74.3	3 1.1
	無回答	177	1 0.6	33 18.6	14 7.9	6 3.4	0 0.0	111 62.7	13 7.3
世帯類型	ひとり親世帯	11	0 0.0	5 45.5	1 9.1	0 0.0	0 0.0	4 36.4	1 9.1
	ふたり親世帯	2,193	24 1.1	364 16.6	198 9.0	137 6.2	6 0.3	1490 67.9	48 2.2
	その他世帯	9	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	7 77.8	0 0.0
	不明	3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0

### (3) 新型コロナウイルス感染症のあなたへの影響

回答者自身への影響（表8-3）については、年齢別にみると、「子育てや子どもに使う時間が増えた」「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」では、5歳児の保護者のほうが該当する者の割合が高く、「友人や知人に相談ごとをする機会が減った」では、逆に2歳児の保護者のほうが該当する者の割合が高かった。

所得階層別にみると、「体調をくずした・くずしやすくなった」は低所得層Ⅰでやや該当する者の割合が高く、「子育てや子どもに使う時間が増えた」「子どもに注意したり怒ったりすることが増えた」は、所得階層が低くなるほど、該当する者の割合が高くなる傾向がみられた。

世帯類型別にみると、大きな差はみられないものの、「友人や知人に相談ごとをする機会が減った」を除き、それ以外の項目では、ひとり親世帯のほうが該当する者の割合がやや高かった。

表8-3 新型コロナウイルス感染症のあなたへの影響

(単位：人数、%)

		サンプル数	体調をくずした・くずしやすくなった	気持ちが悪くなった	病院にかかりにくくなった	子育てや子どもに使う時間が増えた	子どもに注意したり怒ったりすることが増えた	友人や知人に相談ごとをする機会が減った	あてはまるものはない	無回答
全 体		2,419	216 8.9	474 19.6	475 19.6	595 24.6	545 22.5	408 16.9	867 35.8	58 2.4
年 齢	2歳	683	57 8.3	139 20.4	130 19.0	131 19.2	110 16.1	138 20.2	269 39.4	14 2.0
	5歳	1,736	159 9.2	335 19.3	345 19.9	464 26.7	435 25.1	270 15.6	598 34.4	44 2.5
所得階層	低所得層Ⅰ	329	41 12.5	69 21.0	64 19.5	86 26.1	89 27.1	35 10.6	108 32.8	8 2.4
	低所得層Ⅱ	502	39 7.8	102 20.3	112 22.3	148 29.5	130 25.9	79 15.7	166 33.1	3 0.6
	中間所得層Ⅰ	470	41 8.7	101 21.5	100 21.3	113 24.0	105 22.3	87 18.5	171 36.4	4 0.9
	中間所得層Ⅱ	607	51 8.4	110 18.1	115 18.9	149 24.5	135 22.2	128 21.1	223 36.7	7 1.2
	上位所得層	288	20 6.9	49 17.0	53 18.4	60 20.8	42 14.6	45 15.6	122 42.4	0 0.0
	無回答	223	24 10.8	43 19.3	31 13.9	39 17.5	44 19.7	34 15.2	77 34.5	36 16.1
世帯類型	ひとり親世帯	175	20 11.4	39 22.3	35 20.0	44 25.1	49 28.0	20 11.4	55 31.4	5 2.9
	ふたり親世帯	2,193	193 8.8	429 19.6	436 19.9	545 24.9	487 22.2	381 17.4	799 36.4	31 1.4
	その他世帯	20	2 10.0	3 15.0	4 20.0	5 25.0	5 25.0	2 10.0	10 50.0	0 0.0
	不明	31	1 3.2	3 9.7	0 0.0	1 3.2	4 12.9	5 16.1	3 9.7	22 71.0

#### (4) 新型コロナウイルス感染症の子どもへの影響

子どもへの影響（表8-4）については、「学習に支障がでた」「習い事などに支障がでた」「生活リズムがくずれた」「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」で、2歳よりも5歳で該当する者の割合が高かった。特に2歳・5歳ともに該当する者の割合が他に比べて高かった「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」では、2歳が33.1%であったのに対し、5歳は61.2%と年齢によって大きな差がみられた。所得階層別でみると、「学習に支障がでた」「精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた」では、所得階層が低い者ほど、該当する者の割合が高いのに対し、「生活リズムがくずれた」では所得階層が高い者ほど該当する者の割合が高くなる傾向がみられた。世帯類型別では、顕著な差はみられなかった。

表8-4 新型コロナウイルス感染症の子どもへの影響

(単位：人数、%)

		サンプル数	学習に支障がでた	習い事などに支障がでた	遊びや友だちづきあいに支障がでた	生活リズムがくずれた	体力が落ちたり、ケガをしやすくなった	精神的に不安定になったり、ふさぎ込むことが増えた	ない	あてはまるものは	無回答
全 体		2,419	289 11.9	587 24.3	163 6.7	376 15.5	196 8.1	1,289 53.3	736 30.4	49 2.0	
年 齢	2 歳	683	57 8.3	130 19.0	33 4.8	48 7.0	38 5.6	226 33.1	342 50.1	12 1.8	
	5 歳	1,736	232 13.4	457 26.3	130 7.5	328 18.9	158 9.1	1,063 61.2	394 22.7	37 2.1	
所得階層	低所得層Ⅰ	329	50 15.2	67 20.4	21 6.4	33 10.0	39 11.9	179 54.4	93 28.3	5 1.5	
	低所得層Ⅱ	502	71 14.1	121 24.1	40 8.0	65 12.9	45 9.0	307 61.2	137 27.3	5 1.0	
	中間所得層Ⅰ	470	59 12.6	126 26.8	34 7.2	69 14.7	34 7.2	249 53.0	146 31.1	3 0.6	
	中間所得層Ⅱ	607	61 10.0	154 25.4	44 7.2	109 18.0	50 8.2	324 53.4	191 31.5	4 0.7	
	上位所得層	288	26 9.0	81 28.1	13 4.5	68 23.6	13 4.5	140 48.6	94 32.6	0 0.0	
	無回答	223	22 9.9	38 17.0	11 4.9	32 14.3	15 6.7	90 40.4	75 33.6	32 14.3	
世帯類型	ひとり親世帯	175	29 16.6	36 20.6	12 6.9	20 11.4	16 9.1	97 55.4	53 30.3	3 1.7	
	ふたり親世帯	2,193	255 11.6	545 24.9	151 6.9	352 16.1	177 8.1	1,173 53.5	674 30.7	24 1.1	
	その他世帯	20	4 20.0	5 25.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	14 70.0	5 25.0	0 0.0	
	不明	31	1 3.2	1 3.2	0 0.0	1 3.2	2 6.5	5 16.1	4 12.9	22 71.0	

### (5) 新型コロナウイルス感染症の家計への影響

家庭の家計への影響（表8-5）については、「世帯収入が減った」においては、年齢別で差はみられなかったものの、「世帯の支出が増えた」では、2歳が15.7%であったのに対し、5歳は22.1%と差がみられた。所得階層別では、「世帯収入が減った」「世帯の支出が増えた」で、所得階層が低い者ほど、該当する者の割合が高くなる傾向がみられた。「世帯の貯蓄が減った」については、低所得層Ⅱで25.7%と他の階層に比べ、やや高い値がみられた。世帯類型別では、「世帯収入が減った」「世帯の支出が増えた」でひとり親世帯のほうが該当する者の割合が高かった。

表8-5 新型コロナウイルス感染症の家計への影響

(単位：人数、%)

		サンプル数	世帯収入が減った	世帯の支出が増えた	世帯の貯蓄が減った	あてはまるものはない	無回答
全体		2,419	454 18.8	490 20.3	390 16.1	1,326 54.8	63 2.6
年齢	2歳	683	128 18.7	107 15.7	97 14.2	417 61.1	10 1.5
	5歳	1,736	326 18.8	383 22.1	293 16.9	909 52.4	53 3.1
所得階層	低所得層Ⅰ	329	114 34.7	78 23.7	63 19.1	140 42.6	3 0.9
	低所得層Ⅱ	502	115 22.9	119 23.7	129 25.7	224 44.6	4 0.8
	中間所得層Ⅰ	470	80 17.0	111 23.6	88 18.7	255 54.3	3 0.6
	中間所得層Ⅱ	607	78 12.9	117 19.3	69 11.4	377 62.1	7 1.2
	上位所得層	288	32 11.1	33 11.5	18 6.3	220 76.4	0 0.0
	無回答	223	35 15.7	32 14.3	23 10.3	110 49.3	46 20.6
世帯類型	ひとり親世帯	175	50 28.6	43 24.6	25 14.3	80 45.7	3 1.7
	ふたり親世帯	2,193	397 18.1	439 20.0	362 16.5	1,232 56.2	37 1.7
	その他世帯	20	4 20.0	7 35.0	2 10.0	11 55.0	0 0.0
	不明	31	3 9.7	1 3.2	1 3.2	3 9.7	23 74.2



## 9 制度の利用について

### (1) 子育てに関する制度やサービスの利用状況（一時預かり事業）

一時預かり事業の利用状況について（表9-1）、「利用したことがある・利用している」は全体の22.3%で、5歳児がやや高い（2歳児18.3%、5歳児23.8%）。所得階層別にみるとややばらつきはあるものの、一貫した傾向はみられない。世帯類型別にみると、相対的にニーズが高いと推察されるひとり親世帯のほうが、比率が低い（ひとり親世帯18.5%、ふたり親世帯22.8%）。「利用する必要がなかった」は51%で、ひとり親世帯がふたり親世帯に比較して低く（ひとり親世帯44.6%、ふたり親世帯51.9%）、利用ニーズが高いことが伺える。「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「抵抗感があった（5.7%）」「利用のしかたがわからなかった（5.5%）」「使用時間や制度・サービスが使いづらかった（4.5%）」といった理由の比率が高い。「抵抗感」は年齢による違いが大きいが、「利用のしかたがわからなかった」「使いづらかった」といったサービス供給、情報提供に関わる理由は、ひとり親世帯がふたり親世帯に比較して回答の比率が高い。

表9-1 一時預かり事業

(単位：人数、%)

		サンプル数	利用したことがある・利用している	利用する必要がなかった	利用したかったが条件を満たしていなかった	使用時間や制度・サービスが使いづらかった	利用するのに抵抗があった	利用のしかたがわからなかった	まったく知らなかった	制度やサービスについて	なかった	無回答
全 体		2,419	539 22.3	1233 51.0	55 2.3	110 4.5	137 5.7	132 5.5	71 2.9	62 2.6	80 3.3	
年 齢	2 歳	683	125 18.3	339 49.6	24 3.5	39 5.7	59 8.6	53 7.8	17 2.5	13 1.9	14 2.0	
	5 歳	1,736	414 23.8	894 51.5	31 1.8	71 4.1	78 4.5	79 4.6	54 3.1	49 2.8	66 3.8	
所得階層	低所得層Ⅰ	329	76 23.1	161 48.9	11 3.3	11 3.3	13 4.0	21 6.4	17 5.2	9 2.7	10 3.0	
	低所得層Ⅱ	502	93 18.5	259 51.6	13 2.6	28 5.6	35 7.0	37 7.4	15 3.0	15 3.0	7 1.4	
	中間所得層Ⅰ	470	94 20.0	246 52.3	12 2.6	22 4.7	36 7.7	24 5.1	15 3.2	10 2.1	11 2.3	
	中間所得層Ⅱ	607	171 28.2	304 50.1	9 1.5	31 5.1	33 5.4	23 3.8	16 2.6	15 2.5	5 0.8	
	上位所得層	288	66 22.9	160 55.6	4 1.4	15 5.2	12 4.2	13 4.5	5 1.7	11 3.8	2 0.7	
	無回答	223	39 17.5	103 46.2	6 2.7	3 1.3	8 3.6	14 6.3	3 1.3	2 0.9	45 20.2	
世帯類型	ひとり親世帯	175	33 18.9	78 44.6	5 2.9	7 4.0	9 5.1	19 10.9	12 6.9	4 2.3	8 4.6	
	ふたり親世帯	2,193	500 22.8	1139 51.9	50 2.3	103 4.7	126 5.7	111 5.1	59 2.7	57 2.6	48 2.2	
	その他世帯	20	3 15.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	
	不明	31	3 9.7	2 6.5	0 0.0	0 0.0	1 3.2	2 6.5	0 0.0	0 0.0	23 74.2	

## (2) 子育てに関する制度やサービスの利用状況 (子ども食堂)

子ども食堂の利用状況について(表9-2)、「利用したことがある・利用している」は3.0%で、全体の中では少数である。2歳児が1.9%、5歳児が3.4%で、やや5歳児が高い。世帯類型別、所得階層別では利用状況に大きな差はない。「利用する必要がなかった」は67.2%で、全体の2/3を占める。世帯類型別には、ひとり親世帯、所得階層別には低所得層が「利用する必要がなかった」と回答する比率が低い。すなわち、ニーズの高い層ほど、「利用する必要があるが利用していない」もの

が多いことが推察される。「必要がなかった」以外の利用していない理由は、「制度やサービスがなかった(9.5%)」「制度やサービスについて知らなかった(7.6%)」「利用のしかたがわからなかった(5.6%)」といったサービス供給と情報提供の問題に関わることが多い。「抵抗感があった(2.4%)」は全体では少数であるが、ひとり親世帯、低所得層Ⅰにやや高い。

表9-2 子ども食堂

(単位：人数、%)

		サンプル数	利用している 利用したことがある 利用している	利用する必要がなかつた	利用したかったが条件を満たしていなかった	利用したかったが条件を満たしていなかった	使用時間や制度・サービスが使いづらかった	利用するのに抵抗感があった	利用のしかたがわからなかった	まったく知らなかった	制度やサービスがなかった	無回答
全 体		2,419	72 3.0	1625 67.2	11 0.5	14 0.6	57 2.4	135 5.6	184 7.6	231 9.5	90 3.7	
年 齢	2 歳	683	13 1.9	459 67.2	2 0.3	1 0.1	16 2.3	38 5.6	72 10.5	64 9.4	18 2.6	
	5 歳	1,736	59 3.4	1166 67.2	9 0.5	13 0.7	41 2.4	97 5.6	112 6.5	167 9.6	72 4.1	
所 得 階 層	低所得層Ⅰ	329	12 3.6	188 57.1	0 0.0	5 1.5	10 3.0	22 6.7	27 8.2	48 14.6	17 5.2	
	低所得層Ⅱ	502	19 3.8	319 63.5	6 1.2	3 0.6	16 3.2	34 6.8	47 9.4	52 10.4	6 1.2	
	中間所得層Ⅰ	470	8 1.7	331 70.4	0 0.0	3 0.6	9 1.9	27 5.7	41 8.7	36 7.7	15 3.2	
	中間所得層Ⅱ	607	20 3.3	435 71.7	4 0.7	0 0.0	13 2.1	25 4.1	44 7.2	60 9.9	6 1.0	
	上位所得層	288	10 3.5	216 75.0	1 0.3	2 0.7	4 1.4	14 4.9	16 5.6	23 8.0	2 0.7	
	無回答	223	3 1.3	136 61.0	0 0.0	1 0.4	5 2.2	13 5.8	9 4.0	12 5.4	44 19.7	
世 帯 類 型	ひとり親世帯	175	4 2.3	97 55.4	0 0.0	1 0.6	7 4.0	18 10.3	19 10.9	20 11.4	9 5.1	
	ふたり親世帯	2,193	67 3.1	1508 68.8	11 0.5	13 0.6	48 2.2	116 5.3	164 7.5	209 9.5	57 2.6	
	その他世帯	20	1 5.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	
	不明	31	0 0.0	6 19.4	0 0.0	0 0.0	1 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 77.4	

### (3) 子育てや生活の相談利用状況（市役所・町役場の相談窓口）

市役所・町役場の相談窓口の利用状況について(表9-3)、「相談したことがある・相談している」ものは14.2%で、年齢別に大きな違いはない。所得階層別には低所得層Ⅰがやや高いが、他は大きな違いはない。世帯類型別では、ひとり親世帯(25.1%)がふたり親世帯(13.5%)に対して相談経験のある世帯の比率が高い。「相談する必要がなかった」ものは70.5%で、やはり世帯類型別の違いが大きい(ひとり親52.6%、ふたり親72.7%)。「必要がなかった」以外の利用していない理由のなかでは、相談するのに抵抗感があった(5.0%)、相談先や方法を知らなかった(3.8%)の比率が高い。所得階層別にみると、所得階層が低いほど「抵抗感があった」の比率が高い。また、世帯類型別にみると「抵抗感があった」「知らなかった」の双方ともひとり親世帯に比率が高い。

表9-3 市役所・町役場の相談窓口

(単位：人数、%)

		サンプル数	相談している	相談したことがある・相談している	相談する必要がなかった	相談時間や場所などが使いづらかった	相談するのに抵抗感があつた	相談先や方法を知らなかった	無回答
全 体		2,419	344 14.2	1,706 70.5	36 1.5	122 5.0	93 3.8	118 4.9	
年 齢	2 歳	683	113 16.5	469 68.7	17 2.5	38 5.6	21 3.1	25 3.7	
	5 歳	1,736	231 13.3	1,237 71.3	19 1.1	84 4.8	72 4.1	93 5.4	
所得階層	低所得層 I	329	64 19.5	199 60.5	6 1.8	27 8.2	16 4.9	17 5.2	
	低所得層 II	502	67 13.3	357 71.1	10 2.0	33 6.6	20 4.0	15 3.0	
	中間所得層 I	470	74 15.7	326 69.4	5 1.1	28 6.0	18 3.8	19 4.0	
	中間所得層 II	607	80 13.2	463 76.3	9 1.5	23 3.8	19 3.1	13 2.1	
	上位所得層	288	38 13.2	226 78.5	4 1.4	4 1.4	11 3.8	5 1.7	
	無回答	223	21 9.4	135 60.5	2 0.9	7 3.1	9 4.0	49 22.0	
世帯類型	ひとり親世帯	175	44 25.1	92 52.6	5 2.9	16 9.1	11 6.3	7 4.0	
	ふたり親世帯	2,193	296 13.5	1,595 72.7	31 1.4	105 4.8	82 3.7	84 3.8	
	その他世帯	20	3 15.0	14 70.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0	
	不明	31	1 3.2	5 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 80.6	

(4) 子育てや生活の相談利用状況 (子育て支援センター)

子育て支援センターの利用状況について(表9-4)について、「相談したことがある・相談している」ものは30.8%で、2歳児保護者にやや比率が高い(2歳児35.0%、5歳児29.2%)。また、所得階層が高くなるほど比率が高く(低所得層 I 25.2%、上位所得層34.0%)、ひとり親世帯(22.9%)に対してふたり親世帯(31.9%)の比率が高くなっている。「相談する必要がなかった」と回答したも

のは56.6%で、5歳児保護者にやや比率が高いものの、所得階層別、世帯類型別には大きな違いはない。「必要がなかった」以外の利用していない理由としては、「相談するのに抵抗感があった(3.1%)」「相談先や方法を知らなかった(3.1%)」が多く、いずれも低所得層、ひとり親世帯で比率が高くなっている。

表9-4 子育て支援センター

(単位：人数、%)

		サンプル数	相談している 相談したことがある 相談したことがある	相談する必要がなかった	相談時間や場所などが 使いづらかった	相談するのに抵抗感があった	相談先や方法を知らなかった	無回答
全体		2,419	746 30.8	1370 56.6	52 2.1	76 3.1	74 3.1	101 4.2
年齢	2歳	683	239 35.0	366 53.6	19 2.8	22 3.2	16 2.3	21 3.1
	5歳	1,736	507 29.2	1004 57.8	33 1.9	54 3.1	58 3.3	80 4.6
所得階層	低所得層Ⅰ	329	83 25.2	198 60.2	7 2.1	13 4.0	15 4.6	13 4.0
	低所得層Ⅱ	502	150 29.9	288 57.4	10 2.0	20 4.0	21 4.2	13 2.6
	中間所得層Ⅰ	470	150 31.9	262 55.7	13 2.8	18 3.8	11 2.3	16 3.4
	中間所得層Ⅱ	607	217 35.7	342 56.3	14 2.3	12 2.0	14 2.3	8 1.3
	上位所得層	288	98 34.0	172 59.7	4 1.4	5 1.7	7 2.4	2 0.7
	無回答	223	48 21.5	108 48.4	4 1.8	8 3.6	6 2.7	49 22.0
世帯類型	ひとり親世帯	175	40 22.9	101 57.7	5 2.9	10 5.7	8 4.6	11 6.3
	ふたり親世帯	2,193	699 31.9	1250 57.0	47 2.1	66 3.0	66 3.0	65 3.0
	その他世帯	20	5 25.0	14 70.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0
	不明	31	2 6.5	5 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	24 77.4

## (5) 生活保護

生活保護の利用状況について（表9-5）、「利用したことがある・利用している」は14%で、全体の中では少数である。生活保護基準以下の所得層を対象とした制度であることから、ひとり親世帯（10.3%）、低所得層Ⅰ（6.7%）に利用層が集中している。「利用する必要がなかった」は89.0%である。無回答の4.5%を除くと、全体の5.3%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる（※）。ひとり親世帯では「利用する必要はなかった」は67.4%で、不明の5.1%を除くと、全体の17.2%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由は「条件を満たしていなかった（6.9%）」「抵抗感があった（4.5%）」が多い。低所得層Ⅰでは、「利用する必要はなかった」は76.3%で、不明の4.6%を除くと、全体の12.4%が「利用する必要があったが利用していない」ことになる。この理由はひとり親世帯と同様に「条件を満たしていなかった（4.3%）」「抵抗感があった（3.0%）」が多い。

※「利用したことがある・利用している、利用する必要がなかった、不明」の比率の合計を全体（100%）から引いて算出。以下同様。

表9-5 生活保護

(単位：人数、%)

		サンプル数	利用している	利用したことがある・利用している	利用する必要がなかった	利用したかったが条件を満たしていなかった	利用したかったが制度が使いづらかった	利用するのに抵抗感があつた	利用のしかたがわからなかった	制度やサービスについてまったく知らなかった	無回答
全 体		2,419	33 1.4	2,154 89.0	37 1.5	6 0.2	22 0.9	15 0.6	42 1.7	110 4.5	
年 齢	2 歳	683	8 1.2	617 90.3	16 2.3	0 0.0	3 0.4	5 0.7	12 1.8	22 3.2	
	5 歳	1,736	25 1.4	1,537 88.5	21 1.2	6 0.3	19 1.1	10 0.6	30 1.7	88 5.1	
所得階層	低所得層Ⅰ	329	22 6.7	251 76.3	14 4.3	4 1.2	10 3.0	2 0.6	11 3.3	15 4.6	
	低所得層Ⅱ	502	5 1.0	450 89.6	9 1.8	2 0.4	6 1.2	5 1.0	9 1.8	16 3.2	
	中間所得層Ⅰ	470	1 0.2	428 91.1	7 1.5	0 0.0	3 0.6	5 1.1	10 2.1	16 3.4	
	中間所得層Ⅱ	607	1 0.2	583 96.0	5 0.8	0 0.0	1 0.2	3 0.5	6 1.0	8 1.3	
	上位所得層	288	0 0.0	281 97.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 1.4	3 1.0	
	無回答	223	4 1.8	161 72.2	2 0.9	0 0.0	2 0.9	0 0.0	2 0.9	52 23.3	
世帯類型	ひとり親世帯	175	18 10.3	118 67.4	12 6.9	4 2.3	8 4.6	2 1.1	4 2.3	9 5.1	
	ふたり親世帯	2,193	14 0.6	2,014 91.8	25 1.1	2 0.1	13 0.6	13 0.6	38 1.7	74 3.4	
	その他世帯	20	0 0.0	17 85.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	2 10.0	
	不明	31	1 3.2	5 16.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	25 80.6	